

平成28年度 第2回 横浜市障害者施策推進協議会次第

平成28年10月26日（水）

午前10時～12時

横浜花咲ビル大研修室 301・302号室

1 開会

2 あいさつ

3 議題

会長・職務代理者選出

第3期障害者プランの見直しについて（資料1）

障害者就労啓発事業（公共施設活用事業）について（資料2）

4 報告事項

第3期障害者プランの取組状況について（資料3）

後見的支援を要する障害者支援条例に基づく報告について（資料4）

横浜市障害者自立支援協議会の実施状況について（資料5）

津久井やまゆり園殺傷事件 当日・現在の状況について（資料6）

障害者差別の解消に関する市の取組状況について（資料7）

5 その他

しょうがいしゃしゅうろうけいはつじぎょう こうきょうしせつかつようじぎょう
 障害者就労啓発事業（公共施設活用事業）について

1 趣旨

しょうがいしゃしゅうろうけいはつじぎょう こうきょうしせつかつようじぎょう へいせい みなみくうらふねちょう
 障害者就労啓発事業における公共施設活用事業では、平成18年度より南区浦舟町にある

うらふねふくごうふくししせつ いちぶ こうゆうざいさん みんかんじぎょうしゃ ゆうしょう か つ しょうがい かつ こうよう
 浦舟複合福祉施設の一部（公有財産）を民間事業者等に有償で貸し付け、障害のある方の雇用

ば そうしゅつ きぎょうとう たい しょうがいしゃこうそくしん けいはつ おこ
 の場を創出するとともに、企業等に対する障害者雇用促進のための啓発を行ってきました。

じぎょうかいしどうしよ こうゆうざいさん か つ せんていいんかい どくじ もう ゆうしきしゃとう
 事業開始当初は、公有財産を貸し付けるにあたり、選定委員会を独自に設けて有識者等から

いけん ちょうしゅ じぎょうしゅし がっち うんえいじぎょうしゃ せんてい ほんし ふぞくきかんとう
 意見を聴取し、事業趣旨に合致する運営事業者を選定していましたが、本市での附属機関等の

みなお はか ゆうしきしゃとう いけん ちょうしゅ ばあい どくじせっち
 見直しが図られたことにより、有識者等から意見を聴取する場合は、独自設置のものではなく、

じょうれい せっち ふぞくきかん おこな
 条例で設置された附属機関にて行うこととされました。

ほんじぎょう こうゆうざいさん か つ げんじぎょうしゃ けいやくまんりょう ともな
 このたび、本事業において公有財産を貸し付けている現事業者との契約満了に伴い、

しんきじぎょうしゃ こうぼ おこ ほんじぎょう しょうがいしゃせさく きよ よこはまし
 新規事業者の公募を行います。ついては、本事業が障害者施策に寄与することから、横浜市

しょうがいしゃしきくすいしんきょうぎかい じぎょうしゃ せんてい おこないます
 障害者施策推進協議会において、事業者の選定を行います。

2 経過

へいせい ねんど うんえいじぎょうしゃ こうぼおよ せんてい
 平成17年度 運営事業者の公募及び選定

ねんど せんていじぎょうしゃ けいやくていけつ けいやくきかん ねん
 18年度 選定事業者との契約締結（契約期間：3年）

ねんど けいやくこうしん かいめ
 21年度 契約更新（1回目）

ねんど けいやくこうしん かいめ
 24年度 契約更新（2回目）

ねんど 27年度 けいやくこうしん 契約更新 (じかいこうしん 次回更新なしの けいやくけいたい へんこう 契約形態に変更)

ねんどまつ 29年度末 けいやくまんりよう 契約満了 (よてい 予定)

3 本協議会へ付議する理由

ほんじぎょう 本事業については、しょうがいしゃこよう 障害者雇用の しょうしゅつおよ 創出及び ぷんぱくけいはつ 普及啓発により、ほんししょうがいしゃせさく すいしん きよ 本市障害者施策の推進に寄与することから、しょうがいしゃきほんほうだい 障害者基本法第36条 じょうだい 第1項 2号に定める「しょうがいしゃ かん しさく しょうごうてき 障害者に関する施策の総合的かつ計画的な推進について必要な事項」であるため、どうほうだい 同法第36条 じょうだい 第3項に基つき じょうれい せっち 条例で設置された本協議会にて付議します。

4 部会設置について

(1) 目的

せんていかてい 選定過程においては、せんもんてき 専門的かつ しょうさい ちようさまた どうぎ おこな ひつよう 詳細な調査又は討議を行う必要があるため、ほんきょうぎかい 本協議会に

かぶそしき 下部組織 (ぶかい 部会) を設置します。

(2) 期間

へいせい 平成28～29年度 (ねんど 2回開催)

(3) 構成

がくしきけいけんしゃ 学識経験者 (しゃかいふくし 社会福祉)、ちいきふくしかんけいしゃ 地域福祉関係者、ろうどうぎょうせいかんけい 労働行政関係、べんごし 弁護士、こうにんかいけいし 公認会計士

5 スケジュール

へいせい 平成28年10月26日 (ねん がつ にち) 28年度第2回横浜市障害者施策推進協議会 (ほんじつ 本日)

ねん がつ
29年 1月

だい かいぶかいさい
第1回部会開催

こうぼかいし
公募開始

がつ
2月

げんちけんがくかいおよびしつもんたいおう
現地見学会及び質問対応

がつ
3月

おうぼうけつけかいし
応募受付開始

がつ
4月

ぼしゅうしめきり
募集締切

だい かいぶかいさい
第2回部会開催

がつ
6月

ねん だいい かいよこはまししょうがいしゃしきくすいしんきょうぎかい じぎょうしゃせんてい
29年度第1回横浜市障害者施策推進協議会（事業者選定）

6 たてものおよびたいしょうす べーす がいよう
建物及び対象スペースの概要

たてものめい 建物名	うらふねふくごうふくししせつ 浦舟複合福祉施設	しょざいち 所在地	みなみくうらふねちよう3ちようめ46ぼんち 南区浦舟町3丁目46番地
もよりえき 最寄駅	しえいちかてつ ぼんどうげし えき 市営地下鉄「阪東橋」駅	しきちめんせき 敷地面積	2,865.54 m^2 <small>へいほうめーとる</small>
	げしゃ ふん 下車5分	のべゆかめんせき 延床面積	22,880.45 m^2 <small>へいほうめーとる</small>
こうぞう ちくねんすう 構造・築年数	てつきんこんくりーとこうぞう ちじよう かい ちか かい しょうわ ねん がつちく 鉄筋コンクリート構造／地上12階・地下2階／昭和42年11月築		
たいしょう 対象 す べーす スペース	かい 階	かい いちぶ 9階（一部）	
	ゆかめんせき 床面積	732.65 m^2 <small>へいほうめーとる</small> (延床面積911.08 m^2 <small>へいほうめーとる</small>)	
	げんきよう 現況	みんかんじぎょうしゃ やく めい しょうがいしゃ こよう 民間事業者が約60名の障害者を雇用	
	げんじ 現事 ぎょうしゃ 業者	さんくすてんぶがぶしきがいしゃ てんぶほーるでいんぐす とくれいこがいしゃ サンクステンプ株式会社（テンプホールディングスの特例子会社）	

7 参考（障害者基本法）

＜条文抜粋＞

（都道府県等における合議制の機関）

第三十六条 都道府県（地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第二百五十二条の

十九第一項の指定都市（以下「指定都市」という。）を含む。以下同じ。）に、次に掲げる

事務を処理するため、審議会その他の合議制の機関を置く。

一（略）

二 当該都道府県における障害者に関する施策の総合的かつ計画的な推進について

必要な事項を調査審議し、及びその施策の実施状況を監視すること。

三（略）

2（略）

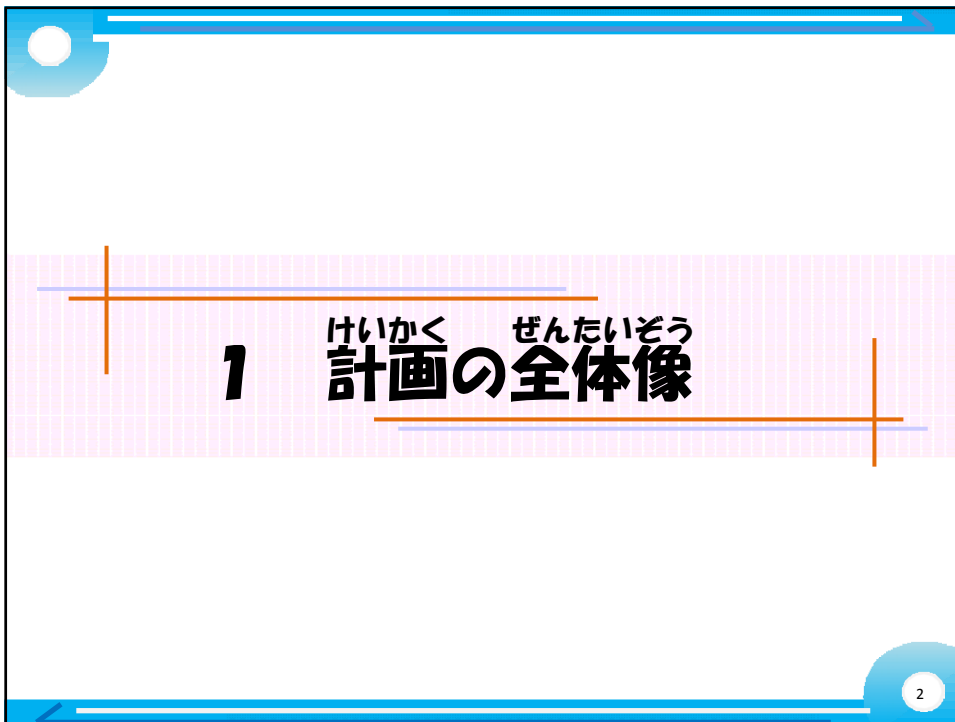
3 前項に定めるもののほか、第一項の合議制の機関の組織及び運営に関し必要な事項は、

条例で定める

4（略）

5（略）

だい きしょうがいしゃ とりくみじょうきょう
第3期障害者プランの取組状況について



(1) 計画の概要

「計画の趣旨」

- 障害者基本法：「障害者計画」
(障害福祉施策の方向性)
- 障害者総合支援法：「障害福祉計画」
(サービスの見込み量を定める)



- 障害福祉施策の方向性を示して目指すこと

一人の市民として、住み慣れた地域で、当たり前の
ように生活していけるまちを実現していく

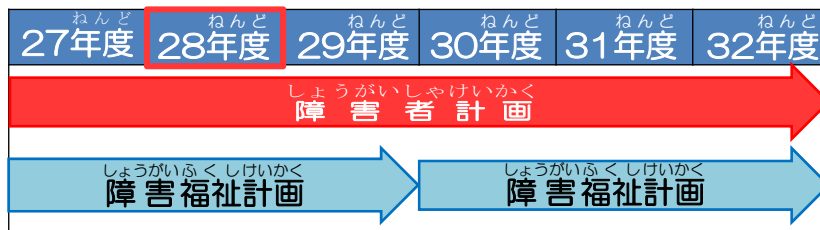
(2) 計画の期間

計画期間：平成27年度～32年度

(6年間)

見直しの実施

第3期横浜市障害者プラン





**2 へいせい ねんと とりくみないよう
平成28年度の取組内容**

6

テーマ1 であう・つながる・たすあう

1-1 普及・啓発 《主な取組の方向性》

- 幼少期及び学齢期から、健全者が障害を理解し、交流を深められるよう相互理解に向けた取組の推進等

取組状況

- 普及啓発リーフレットの作成及び啓発講座等の実施
- セイフティーネットプロジェクト横浜による出前講座等の実施
- 障害理解のための教育現場向け資料の検討
- 副学籍による交流教育の推進等

7

テーマ1 であう・つながる・たすあう

1-2 相談支援 《主な取組の方向性》

- 各相談支援機関等が連携して対応する取組の強化及び相談システムの整理等

取組状況

- 基幹相談支援センターの設置と、区役所、生活支援センターとの連携による区域の相談支援体制の強化
- 相談支援に係る人材育成ビジョンの見直し、研修の実施に向けた検討
- 高次脳機能障害者専門相談支援事業の拠点を4か所増やし、10か所で実施
- 発達障害者の特定相談日を18区に設置・推進等

8

テーマ1 出会う・つながる・助け合う

1-3 情報の保障 《主な取組の方向性》

- 関係機関、民間事業者等による情報発信のルール化及びガイドライン等の作成等

取組状況

- 横浜市障害者差別解消検討部会を受け、取組指針を策定
- 区役所窓口における手話通訳対応の充実等

9

テーマ1 出会う・つながる・助け合う

1-4 災害対策 《主な取組の方向性》

- 障害特性に応じた情報提供や避難所の要援護者のためのスペース確保、環境整備の推進等

取組状況

- 地域防災拠点訓練において、セーフティネットプロジェクト横浜による出前講座等の実施
- ストマ用具を保管するロッカーの設置
- 障害者災害対策会議の開催に向けた検討等

10

テーマ2 住む、そして暮らす

2-1 住まい ≪主な取組の方向性≫

- 多様な形態の住まいへの支援等

取組状況

- 知的障害者の住まい検討部会を踏まえた研修の開催
- 精神障害者を対象とした「住まいに関する意識調査」の実施
- 養護老人ホーム「野庭風の丘」において、視覚障害者の入所を開始
- 「横浜医療福祉センター港南」の開所及び「横浜療育医療センター」の再整備等

11

テーマ2 住む、そして暮らす

2-2 暮らし ≪主な取組の方向性≫

- 安心して暮らしていくための施策の推進、本人の生活力を引き出す支援の充実等

取組状況

- 多機能型拠点
県立三ツ境養護学校の隣地（瀬谷区）に3館目を開所
- 自立生活アシスタント事業
西区（精神障害者）で開始 市内40か所を実施
- 後見的支援制度
新たに2区を選定 H29.3～全区で展開等

12

テーマ3 毎日安心して健やかに過ごす

3-1 健康・医療 《主な取組の方向性》

- 障害特性を理解した対応ができる医療機関の整備等

取組状況

- 市内医療従事者を対象とした研修の開催
重症心身障害児者看護研修会 医療安全研修会 他
- 知的障害者対応専門外来 市内3病院で実施
- 重症心身障害児・者を対象とした医療的ケア等に関する実態把握調査の実施
- 精神科救急医療対策事業の拡充
- 健康づくり環境の整備等

13

テーマ3 毎日安心して健やかに過ごす

3-2 バリアフリー 《主な取組の方向性》

- ハード面のバリアフリー化の推進等

取組状況

- ノンステップバスの導入促進のため、民営バス事業者に対し、導入に係る経費の一部を補助
- 十日市場駅周辺地区を対象としたバリアフリー基本構想の策定（18地区で策定完了見込み）
- 学校にエレベーターを設置
6月現在 小中学校488校中、153校設置済等

14

テーマ3 まいにちあんしん すこ すこ 毎日安心して健やかに過ごす

3-3 権利擁護 《主な取組の方向性》

- 障害者差別解消法の趣旨を踏まえた取組の推進及び普及啓発等

取組状況

- 職員研修の実施
- 障害のある人となない人の交流を通じた理解促進の取組（啓発活動）の検討
- 相談対応に関する市民への周知
- 障害者差別解消支援地域協議会の設置・運営
- 成年後見制度パンフレットの作成等

15

テーマ4 ちから まな はぐく 生きる力を学び・育む

4-1 療育 《主な取組の方向性》

- 地域療育センターを中心とした、療育体制の機能強化・地域関係機関の連携による支援体制の充実等

取組状況

- 地域療育センターにおける初診待機期間の短縮
- 地域訓練会への運営費助成
- 放課後等デイサービス事業者への研修の実施
- 学齢後期障害児支援事業所の4か所目設置に向けた検討等

16

テーマ4 いきる力を学び・育む

4-2 教育きょういく《おも主な取組とりぐみの方向性ほうこうせい》

- 療育りょういくと教育機関きょういくきかんの連携れんけいによる切れめのない支援しえん、教育環境きょういくかんきょうや教育活動きょういくかつどうの充実じゅうじつ、福祉ふくしと連携れんけいした就労支援しゅうろうしえんの充実じゅうじつ等

取組状況とりぐみじょうきょう

- 幼保小ようほしょうの連携れんけいに係る実践研究じっせんけんきゅうの成果せいかを冊子さつしにまとめ発信はつしん
- タブレット端末たぶれつたんまつを特別支援学校とくべつしえんがっこう4校で導入どうにゅうし、実践研究じっせんけんきゅうを実施じっし
- リーダーりーだーとなる教員きょういんの養成ようせいのため、各機関かくきかんへ教員きょういんを派遣はけん
- 肢体不自由したいふじゆう特別支援学校とくべつしえんがっこうの再編整備さいへんせいび等

17

テーマ4 いきる力を学び・育む

4-3 人材の確保じんざい・養成かくほ《おも主な取組とりぐみの方向性ほうこうせい》

- 民間事業者みんかんじぎょうしゃと協働きょうどうした人材確保じんざいかくほ・養成施策いくせいしさくの推進すいしん等

取組状況とりぐみじょうきょう

- 障害福祉しょうがいふくしの魅力みりよくが伝わる企画つたの検討きかく
- 各種支援者向けけんとうの研修かくしゅしえんしゃむを開催けんしゅう
- 発達障害はったつしょうがいに係る研修かか（基礎研修きそけんしゅう、応用研修おうようけんしゅう）
- 行動障害こうどうしょうがいに係る研修かか（支援力向上研修しえんりょくこうじょうけんしゅう）
- 就労支援スキル向上しゅうろうしえんすきるこうじょうのための就業体験しゅうぎょうたいけん
- ガイドヘルパーがいどへるぱーのスキルアップ研修すきるあっぷけんしゅう等

18

てーま5 はたら かつどう よか たの
テーマ5 働く・活動する・余暇を楽しむ

しゅうろう
5-1 就労 《主な取組の方向性》

- 就労支援センター等を中心とした就労支援及び定着支援の推進等

とり組みようきょう
取組状況

- 就労支援センター
障害者の就労・定着支援の推進
支援体制のあり方について具体的な取組の検討
各関係機関との連絡会の開催
- 企業向け啓発パンフレット作成や経済団体等での出前講座の実施等

19

てーま5 はたら かつどう よか たの
テーマ5 働く・活動する・余暇を楽しむ

ふくしてきしゅうろう
5-2 福祉的就労 《主な取組の方向性》

- 優先調達推進法に基づく、庁内から障害者施設等への発注促進等

とり組みようきょう
取組状況

- よこはま障害者共同受注総合センターの
受注数拡大に向けた企業訪問・研修の実施
- 優先調達の事例を「は～とオーダー通信」として
庁内LANに掲載等

20

てーま5 はたら かつどう よか たの
テーマ5 働く・活動する・余暇を楽しむ

5-3 日中活動 《主な取組の方向性》

- 日中活動場所の拡充 等

取組状況

- 障害者本人の希望やその人の状態に合った日中活動場所の設置促進 等

21

てーま5 はたら かつどう よか たの
テーマ5 働く・活動する・余暇を楽しむ

5-4 移動支援 《主な取組の方向性》

- さまざまな支援制度を円滑に利用でき、社会参加が一層進むような移動支援の仕組みの検討 等

取組状況

- 移動情報センターを平成29年1月から新たに3区で開設（累計15区）
新規開設箇所：鶴見区・磯子区・瀬谷区
- カーシェアリングの仕組みの周知 等

22

てーま 5 はたら かつどう よか たの
テーマ5 働く・活動する・余暇を楽しむ

5-5 ぶんか すぽーつ れくりえーしょん おも とりくみ ほうこうせい
5-5 文化・スポーツ・レクリエーション 《主な取組の方向性》

- すぽーつ ぶんかかつどう さんか かんきょうせいび どう
●スポーツ・文化活動に参加しやすい環境整備等

とりくみじょうきょう
取組状況

- よこはま ひゅーまん あんどてくのらんど
●ヨコハマ・ヒューマン & テクノランドにおいて、
よこはま ぱらとりえんなーれ しょうかい
ヨコハマ・パラトリエンナーレを紹介
みぢか ぼしょ すぽーつとう とく ちいき
●身近な場所でスポーツ等に取り組めるよう、地域の
だんたいとう ネットわーくか しえん
団体等がネットワーク化するよう支援
しょうがいしゃ すぽーつたいけんかいとう けいはつかつどう しょうちゅうがっこう
●障害者スポーツ体験会等の啓発活動を小中学校
じっし どう
で実施等

横浜市後見的支援を要する障害者支援条例に基づく事業の報告について

横浜市後見的支援を要する障害者支援条例第7条に、後見的支援を要する障害者に対する施策の実施状況を、横浜市障害者施策推進協議会に報告することになっておりますので、下記のとおりご報告いたします。

1 成年後見制度利用支援事業

<事業内容>

成年後見制度の利用に際しては、原則として親族が家庭裁判所に申立てをしますが、親族に申立てできるものがない知的障害者や精神障害者・高齢者については、区長が行うことができます。

申立てにかかる費用は、いったん横浜市が立て替え、後にご本人にその分を請求します（「求償」といいます）。しかし中にはその費用負担が困難な人もいます。

そこで、成年後見制度利用支援事業では、費用負担が困難な人など、横浜市成年後見制度利用支援事業第2条に該当する人に対して、次の費用を助成しています。

- ・ 区長申立てを行った際の「申立てにかかる費用」の助成
- ・ 後見人等への報酬助成（全部もしくは一部）

※後見人等への報酬助成の対象は、従来区長申立てによる審判請求をした人に限っていましたが、平成21年4月以降の報酬については区長以外の申立てについても対象としています。

◆実績

(単位：人)

		へいせい ねんど 平成22年度	へいせい ねんど 平成23年度	へいせい ねんど 平成24年度	へいせい ねんど 平成25年度	へいせい ねんど 平成26年度	へいせい ねんど 平成27年度
くちょう もうした 区長申立 て	じよせいりよう し 助成(利用支 えんじぎょうてきよう 援事業適用)	9	11	18	26	18	19
	きゅうしょう 求償	3	8	8	4	7	10
ごう けい 合計		12	19	26	30	25	29
ほうしゅうじよせい りよう しえん じぎょう 報酬助成(利用支援事業)		11	14	24	37	53	61

2 きんきゆうたいおうじぎょう 緊急対応事業

じぎょう ないよう 〈事業内容〉

こうけんてきしえん よう しょうがいしゃ ようご おやとう ようご おこな ばあい そな たいおうしゃ
後見的支援を要する障害者を養護する親等が養護を行えなくなった場合に備え、あらかじめ対応者
およ たいおうほうほう じぜん とうろく しょうがいしゃほんにん よう ごしゃ しょうらい ふあん かいしょう
及び対応方法を事前登録することにより、障害者本人やその養護者の将来の不安を解消します。

- ① ようご おこな おやとう く ふくし ほけん せんたー ちょう きんきゆうじ たいおうしゃ およ
対応を行っている親等は、区福祉保健センター長にあらかじめ緊急時の対応者及び
たいおう ないよう とうろく
対応内容を登録します。
- ② きんきゆうじ つうほう う く ふくし ほけん せんたー きゆうじつ やかん よこはまし りはびりてーしょん
緊急時に通報を受けた区福祉保健センター（休日・夜間は横浜市リハビリテーショ
ンセンター）は、対応者へ連絡し、事前の登録内容に沿った対応を依頼します。
- ③ よてい たいおう ふかのう ばあい ゆうせん わくしてい しせつ ほご じっし
予定された対応が不可能な場合には、優先枠指定施設において保護を実施します。
- ④ く ふくしほけん せんたー どうがい しょうがいしゃ そうき あんしん せいかつ おく
区福祉保健センターは、当該障害者が早期に安心して生活を送ることができるよ
う、あらゆる施策・社会資源の活用を図ります。
- ⑤ きんきゆうたいおう よう けいひ たいおうしゃ たい ほんし じよせい
緊急対応に要した経費について、対応者に対し本市が助成します。

とうろくしゃ すう ◆登録者数

たんい にん
(単位：人)

	へいせい ねんど 平成22年度	へいせい ねんど 平成23年度	へいせい ねんど 平成24年度	へいせい ねんど 平成25年度	へいせい ねんど 平成26年度	へいせい ねんど 平成27年度
しんたい しょうがいしゃ 身体障害者	4	4	5	5	5	5
ちてき しょうがいしゃ 知的障害者	21	22	21	22	22	22
せいしん しょうがいしゃ 精神障害者	3	3	3	3	3	3
ごうけい 合計	28	29	29	30	30	30

きんきゆうたいおう じぎょう じっせき けん へいせい ねんど へいせい ねんど
※緊急対応事業 実績 2件 (平成15年度、平成22年度)

さんこう 〈参考〉

よこはまし こうけんてき しえん よう しょうがいしゃしえん じょうれい じょう
横浜市後見的支援を要する障害者支援条例7条

しちょう まいとし ぜんじょう かか しさく じっし じょうきょう よこはまし しょうがいしゃしさく すいしん きょうぎかい じょうれい しょ
市長は、毎年、前条に掲げる施策の実施状況を横浜市障害者施策推進協議会条例（昭
うわ ねん がつよこはまし じょうれいだい ごう だい じょうたい こう きてい よこはまし しょうがいしゃしさく すいしん きょうぎかい
和46年6月横浜市条例第29号）第1条第2項に規定する横浜市障害者施策推進協議会
ほうこく
に報告するものとする。

よこはまししょうがいしゃじりつしえんきょうぎかい じっしじょうきょう
横浜市障害者自立支援協議会の実施状況について

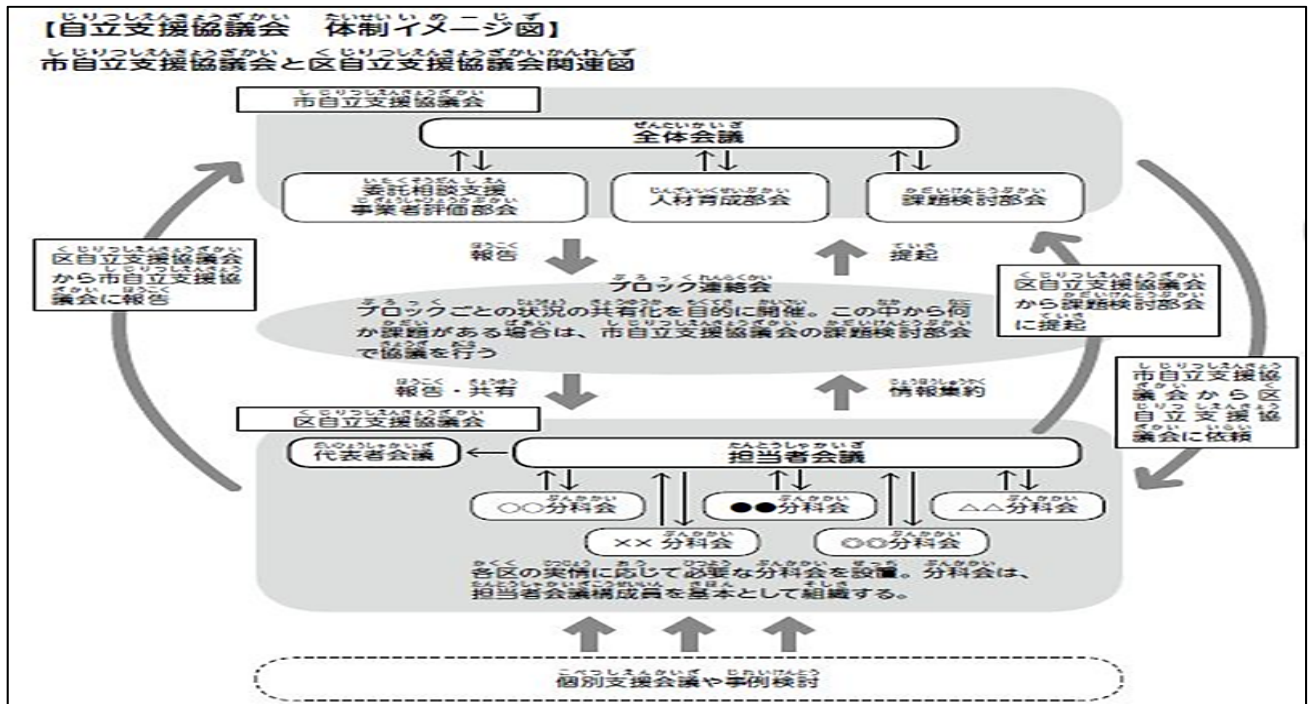
よこはまししょうがいしゃじりつしえんきょうぎかい
1 横浜市障害者自立支援協議会とは

よこはまししょうがいしゃじりつしえんきょうぎかい い か しきょうぎかい しょうがいしゃ にちじょうせいかつおよびしゃがいせいかつ
横浜市障害者自立支援協議会（以下「市協議会」という。）は、障害者の日常生活及び社会生活を
そうごうてき しえん ほくりつ しょうがいしゃそうごうしえんほう だい じょう きてい もと そうだんしえんたいせいおよびそうだん
総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）第89条の3の規定に基づき、相談支援体制及び相談
しえん しすてむ そうだんしえんじゅうじしゃけんしゅうか りききゅら む くきょうぎかい きょうぎ じこうとう かん しいき かだい
支援システム、相談支援従事者研修カリキュラム、区協議会で協議された事項等に関して、市域の課題
かくにん かいけつ む と く すす ぼ せつち
を確認し解決に向けた取り組みを進めるための場として設置しています。

よこはまししょうがいしゃじりつしえんきょうぎかい しきょうぎかい ぶろっく くれんらくかい じどうそうだんじょえりあ せつち ちゅうおう ほくぶ
横浜市障害者自立支援協議会は、市協議会、ブロック連絡会（児童相談所エリアに設置、中央、北部、
せいぶ なんぶ ぶろっく くしょうがいしゃじりつしえんきょうぎかい こうせい
西部、南部の4ブロック）、区障害者自立支援協議会の3つで構成されています。

かくきょうぎかいけんとうないようおよびこうせいいん
<各協議会検討内容及び構成員>

めいしょう 名称	けんとうないよう 検討内容	こうせいいん 構成員
し しょうがいしゃ じりつ しえんきょう ぎかい 市 障害者 自立 支援協 議会	そうだんしえん たいせいおよ しょうだんしえん しすてむ しょうだんしえんじゅうじしゃ 相談支援体制及び相談支援システム、相談支援従事者 けんしゅう かりきゅら む くきょうぎかい きょうぎ じこう いたく 研修のカリキュラム、区協議会で協議された事項、委託 そうだんしえん じぎょうしやおよ かながわけんじりつしえんきょうぎかい かん 相談支援事業者及び神奈川県自立支援協議会に関する こと、その他障害者相談支援事業に係る事項のうち、 しちょう ひつよう みと じこう 市長が必要と認めた事項	がくしき けいけんしゃ べんごし 学識 経験者、 弁護士、 とうじしやおよ かぞく しょうがい 当事者及び家族、 障害 ふくしかんけいしや いりょう しゅうろう 福祉関係者、医療、就労、 きょういくかんけいしや 教育関係者
ぶろっく くれんらくかい ブロック連絡会	こうせい く じょうほうおよびかだいきょうゆう こうせい く しえん 構成する区の情報及び課題共有、構成する区の支援 きょうりょくたいせい こうちく しじりつしえんきょうぎかい かだいていき 協力体制の構築、市自立支援協議会への課題提起、そ たひつよう みと じこう の他必要と認められる事項	かくきょうぎかい じむきょく 各区協議会の事務局 (く、 きかん そうだん しえん 区、 基幹 相談 支援 せんたー、 生活 支援 センター、 生活 支援 せんたー等)
く しょうがいしゃ じりつ しえんきょう ぎかい 区 障害者 自立 支援協 議会	こんなん じれいとう こべつしえん かいぎ かいさいおよ たいおう かん 困難事例等の個別支援会議の開催及び対応に関する きょうぎ ちいきかだいおよ しゃかいしげん ちゅうしゅつおよ きょうゆう しえん 協議、地域課題及び社会資源の抽出及び共有、支援 たいせい こうちく しゃかいしげん かいほつおよ かいぜん けんりょうごとう 体制の構築、社会資源の開発及び改善、権利擁護等に かん とりく みと じこう 関する取組み、その他必要と認められる事項	じむきょく く きかんそうだんしえん 事務局：区、基幹相談支援 せんたー、その他構成員は せんたー、その他構成員は かくく じつじょう 各区の実情による



2 平成28年度実施状況と課題報告書への対応について

市協議会では、専門部会として人材育成部会と課題検討部会を設置し、具体的な検討を進めることとしています。また、各区協議会の課題を市協議会として受け止め、課題解決に向けた取組につなげることを目的として、課題報告書の取扱ルールを定め、市と区の協議会の連携を担保します。

そこで、28年度からは市協議会の開催時期を固定化し、具体的な内容の検討と、区協議会からの課題提出スケジュールを明確にして実施しています。

(1) 市協議会の開催時期について

第1回 平成28年6月30日

第2回 平成28年11月28日

第3回 平成29年2月

市協議会開催1か月前には「幹事会」を開催し、市協議会での検討事項の確認と、区協議会からの課題報告書への対応について協議することとしています。

(2) 専門部会

ア 人材育成部会 (28年度全5回)

平成27年4月に策定した「横浜市障害者相談支援従事者人材育成ビジョン」(以下「ビジョン」

という。)に基づき、ビジョンで目指す相談支援従事者の人材育成に関する課題整理や、解決に向

けた具体的な検討、効率的・効果的な人材育成手法の検討を目的に設置します。

【検討事項】

- ・ 目標、目指す姿の確認
- ・ 研修内容の精査、確認
- ・ 効果的・効率的なOJT手法の確認、検討
- ・ 研修の担い手の育成や選定基準の検討・策定

イ 課題検討部会

区協議会及びブロック連絡会等から挙げられた課題報告書に関する検討を目的に設置します。

提出された課題報告書について、市協議会幹事会での事前協議の上で部会設置の必要性と、部会

の実施回数や委員構成等の確認を行い、市協議会にて確定し検討を進めます。その際に検討期間、

回数等も確認します。

※27年度の状況

27年度は、金沢区及び泉区から提出された重症心身障害児者に関する課題報告書の検討を

行いました。部会において、提起された課題を整理、確認し、全市的な課題として確認するための調査票

の検討及び作成を進め、28年度に各区自立支援協議会へ調査を実施しました。今後、平成28年11月開催

予定の第2回横浜市障害者自立支援協議会にて調査結果を共有し、その後の対応について検討

を行います。

つくい えんさっしょうじけん どうじつ げんざい じょうきょう
 津久井やまゆり園殺傷事件 当日・現在の状況について

 しぼうしゃ ふしょうしゃとう じょうきょう じけんとうじつ
 死亡者・負傷者等の状況(事件当日)

じけんはっせいとうじ しぼうしゃおよ ふしょうしゃ じょうきょう つぎ しょくいん めい のぞく ふしょう
 事件発生当時の死亡者及び負傷者の状況は、次のとおりです(職員3名を除く)。負傷
 された利用者は、きたさとだいがくびょういんとう いりょうきかん はんそう
 された利用者は、北里大学病院等6つの医療機関に搬送されました。
 なお、事件の被害にあわなかった だんせい めい じょせい めい けい けい にゅうしょしゃ じけんはっせいとうじつ
 男性64名、女性44名の計108名の入所者は、事件発生当日
 は、えんない す たんきにゅうしょしゃ かた めい めい じたく きたく
 園内にて過ごされました。このほか、短期入所者の方8名のうち6名は、自宅に帰宅され
 ました。

じょうきょう 状況	だんせい 男性	じょせい 女性	ごうけい 合計
しぼうしゃ 死亡者	9(1)名	10名	19(1)名
よこほまし 横浜市	1名	5名	6名
さがみはらし 相模原市	5(1)名	1名	6(1)名
やまとし 大和市		1名	1名
さまし 座間市		1名	1名
あやせし 綾瀬市	1名		1名
はだのし 秦野市	1名		1名
あいかわまち 愛川町		1名	1名
けんがい 県外	1名	1名	2名
ふしょうしゃ 負傷者	21(1)名	3名	24(1)名

※()書きは短期入所者で、内数

かながわけんはっぴょうしりょう
(神奈川県発表資料)

 にゅうしょしゃ じょうきょう がつ にち じじてん
 入所者の状況(10月12日9時時点)

じょうきょう 状況	だんせい 男性	じょせい 女性	ごうけい 合計
ざいえん 在園されている方	63【25】名	32【11】名	95【36】名
たしせつ 他施設へ移動された方	18名	15名	33名
きたく 帰宅されている方	8(6)名	1(1)名	9(7)名
にゅういん 入院されている方	0名	0名	0名
た じびょうとう その他(持病等により入院)	1名	0名	1名
ごうけい 合計	90名	48名	138名

※()書きは短期入所者で、内数

※在園されている方のうち、【 】書きは県内の他の場所に移動された方で、内数

かながわけんはっぴょうしりょう
(神奈川県発表資料)

じげん よこはまし おも たいおう
事件をふまえた横浜市の主な対応

1 市内の全障害支援施設・事業所に対する安全管理の徹底の通知

が につ じげんはっせいとうじつ
(7月26日…事件発生当日)

2 障害者支援施設及び障害児入所施設の防犯対策に関するアンケート

が につ
(9月1日)

(1) 各施設の現在の防犯対策の実施状況について

(2) 今後、実施が必要と思われる対策について

3 各障害支援施設に、国の二次補正予算での補助金(※)を活用した防犯

たいさく じっし
対策の実施

が につ ちょうせいちゅう
(10月～調整中)

しゃかいふくししせつなどしせつせいびひこっこほじょきん
※…社会福祉施設等施設整備費国庫補助金

○ 障害福祉サービス等の基盤の整備推進、防犯対策の強化 118億円

しょうがいしゃとう くるーぶほーむ しゅうろうしえんじぎょうしやとう せいび よう ひよう
障害者等のグループホームや就労支援事業所等の整備に要する費用

ほじょ
について、補助を行う。

また、障害者支援施設等の防犯対策を強化するため、非常通報装置・防犯

かめら せっち がいこうなど せっち しゅうぜん ひつよう あんぜんたいさく よう ひよう
カメラの設置や外構等の設置・修繕などの必要な安全対策に要する費用

ほじょ おこな
について、補助を行う。

こうせいろうどうしやうしりょう
(厚生労働省資料)

つくい えんさつしょうじけん これまでの主な経過
津久井やまゆり園殺傷事件

がつ にち
7月26日 (午前2時頃) 事件発生

どうじつ
同日 【横浜市】市内全施設・事業所に対し安全管理の徹底の通知

がつ にち
7月29日 けん ちょうないそしき つくい えんじけんさいはつぼうしなどたい
県が庁内組織として、「津久井やまゆり園事件再発防止等対
策本部」を設置

がつ にち
8月 2日 (よこはまし) しちょう えん ほうもん けんか
【横浜市】市長が園を訪問し、献花

がつ にち
8月10日 こうせいろうどうしょう さがみはらし しょうがいしゃしえんしせつ じけん
厚生労働省が「相模原市の障害者支援施設における事件の
検証及び再発防止策検討チーム」を設置

がつ にち
8月11日 ちじ えん ほうもん げんち じょうきょう かくにん
知事が園を訪問し、現地の状況を確認

がつ にち
8月15日 けん たいさくほんぶ めいしょう つくい えんじけんさいはつぼうし
県が対策本部の名称を「津久井やまゆり園事件再発防止
対策・再生本部」に改称

がつ にち
8月 3日 たいいくかんなど す にゆうしょしゃ かたがた めい けんない
体育館等で過ごされていた入所者の方々など 33 名が県内
他の場所へ移動

がつ にち
9月13日 けん つくい えんじけんけんしょういいんかい せっち
県が「津久井やまゆり園事件検証委員会」を設置

がつ にち
9月23日 けん つくい えん さいせい む おお ほうこうせい
県が「津久井やまゆり園の再生に向けた大きな方向性につい
て」を発表

がつ にち
10月14日 けん い しゃかい けんしょう さくてい
県が「ともに生きる社会かながわ憲章」を策定

こうせいろうどうしょう] さがみはらし しょうがいしゃしえんしせつ じけん けんしょうおよびさいはつ
[厚生労働省]「相模原市の障害者支援施設における事件の検証及び再発

ぼうしきくけんとうち - む ちゅうかん がつ か
防止策検討チーム」中間とりまとめ（9月14日）抜粋

ちゅうかん けんしょうけっか がいよう
中間とりまとめにおける検証結果の概要

	<p>こんご けんとうかだい 今後の検討課題</p>
<p>そ ち かい じょう ちゅう 措置 入院 中 の 診 療</p>	<p>めんみつ しんだん ちりょうないよう けんとう しゃかいふつき む ちりょうぶろくらむ ・綿密な診断と治療内容の検討、社会復帰に向けた治療プログラムの ていきょう しつ たか いりょう ていきょう 提供といった、質の高い医療を提供。 いりょうほ ごにゆういん たいいんそくしんそち さんこう じりつそくしん ・医療保護入院における「退院促進措置」(*)を参考とした自立促進 はか せいどてきたいおう を図るための制度的対応。 せいしんほけんふくししなど たいいんごせいかつかんきょうそうだんいん せんニン たしよくしゆ ※ 精神保健福祉士等の退院後生活環境相談員の選任、多職種による たいいんしえんいんかい かいさい 退院支援委員会の開催 いし ようせいだんかい しょうがい いがくきょういく じゅうじつ つう ちいき ・医師の養成段階から生涯にわたる医学教育の充実を通じて、地域 ふつきご いりょうなど けいそくしえん きかくかのう いし りんしょうげんば 復帰後の医療等の継続支援を企画可能な医師や、臨床現場において やくぶつしよう かんれん せいしんしょうがい せんもんてき ちしき も いし 薬物使用に関連する精神障害について専門的な知識を持った医師を いくせい しつ たか いりょう ていきょう 育成し、質の高い医療を提供。</p>
<p>そ ち かい じょう ち 措置 解除 時 の 対 応</p>	<p>びょういん たいいんご ひつよう いりょうとう しえん けんとう しょうじょうしょうたいとどけ ・病院が、退院後に必要な医療等の支援を検討し、症状消退届で とどうふけんち じとう かくじつ だんたつ 都道府県知事等に確実に伝達。 とどうふけんち じとう しょうじょうしょうたいとどけ ないよう ふまえていりょうとう しえん ・都道府県知事等は、症状消退届の内容を踏まえて医療等の支援 ないよう かんけいきかん やくわり かくにん の内容や関係機関の役割を確認。</p>

	<p>かんじゃ じちたい こ いどう たいいんごしえん ちょうせい かなめ</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者が自治体を越えて移動しても、退院後支援の「調整の要」としての機能を、責任主体となる自治体間で確実に引き継ぎ。 <p>とどうふけんち じどう そちかいじょ さい せいしんか いし いけん き たいせい</p> <ul style="list-style-type: none"> 都道府県知事等が、措置解除の際、精神科の医師の意見を聴く体制を <p>かくほ など たいおう</p> <p>確保する等の対応。</p>
<p>措置解除後の対応</p>	<p>ほけんじょ せっち じちたい そちけんじゃ とどうふけんとう たいいんご</p> <ul style="list-style-type: none"> 保健所を設置する自治体が、措置権者である都道府県等から退院後の医療等の支援プロセスを確実に引き継ぎ、継続支援を実施。地域の <p>いりょうとう しえんぶ ろせす かくじつ ひ つ けいぞくしえん じっし ちいき</p> <p>精神科の医療機関など地域資源も活用。</p> <p>せいしんか いりょうきかん ちいきしげん かつよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者が通院中断に至ることなく、通院医療等を適切に受けられるよう <p>うにするための仕組み。</p> <p>かんじゃ ぜんこく いどう けいぞくてきしえん う ほんにん</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者が全国どこに移動しても継続的支援を受けられるよう、本人の <p>りかい ぜんてい じちたいかん じょうほうていきょう</p> <p>理解を前提に自治体間での情報提供。</p>
<p>社会福祉施設等における防犯対策</p>	<p>しゃかいふくししせつとう ほうはん にちじょう たいおう はんこうよこく</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会福祉施設等における防犯について、日常の対応や、犯行予告が <p>ばあい きんきゅうじ たいおう かん ぐたいてき てんけんこうもく あら</p> <p>なされた場合のような緊急時の対応に関し、具体的な点検項目を新たに</p> <p>ていじ</p> <p>提示。</p> <p>てんけんこうもく う しゃかいふくししせつとう ほうはん かんてん</p> <ul style="list-style-type: none"> 点検項目を受けて、社会福祉施設等においては、防犯の観点から <p>げんじょう てんけん たいおう てん はあく</p> <p>現状を点検、対応すべき点を把握。</p> <p>ちいき いったい ひら ふくししせつとう きほんてきほうこうせい</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域と一体となった開かれた社会福祉施設等という基本的方向性は <p>いじ</p> <p>維持。</p>

【その他の意見】

• 精神障害者の地域移行の流れは、人権擁護・地域共生社会推進の観点から決して揺るがしてはならない。

• 入院中から措置解除後まで、患者が医療・保健・福祉・生活面での支援を継続的に受け、地域で孤立することなく安心して生活を送れるようにすることが、ひいては今回のような事件の再発防止につながる。

• 患者の継続的支援の確実な実施には、現行の運用改善のみならず、制度的対応が必要不可欠。

• 今後、更に事実関係を精査しつつ、秋頃を目途に再発防止策をとりまとめる。

しょうがいしゃさべつ かいしやう かん し とりくみじやうきやう
 障害者差別の解消に関する市の取組状況について

 おも とりくみ がつ がつ
 【主な取組（6月～10月）】

 けいはつかつどうとう
 1 啓発活動等

 しょうがい ひと ひと く よこはま さくせい はいふ
 (1) 「障害のある人もない人も みんながいっしょに暮らす 横浜すごろく」の作成・配布

 ちてきしょうがい ひと きやうりやく もと おも
 知的障害のある人の協力の下、主に

 ちてきしょうがい ひと わ けいはつ
 知的障害のある人にも分かりやすい啓発

 しりやう さくせい はいふ
 資料として「すごろく」を作成、配布しま

 がつ
 した。【8月～】

 こうほう けいさい
 (2) 広報よこはまへの掲載

 ほうりつ がいよう そうだんまどぐち く やくしよまどぐち しゅわつうやくたいおう とりくみ こうほう
 法律の概要、相談窓口、区役所窓口における手話通訳対応の取組について、広報よ

 けいさい がつ がつ じんけんとくしゅう なか きじ けいさい よてい
 こはまに掲載しました。【8月】 11月にも人権特集の中で記事を掲載する予定です。

4 広報よこはま 平成28(2016)年8月号

 障害のある人も障害のない人も
 暮らしやすい横浜に

健康福祉局障害企画課 ☎ 671-3601 ☎ 671-3566

今年4月に障害者差別解消法が施行されました。この法律は、障害を理由とする差別をなくしていくため、行政機関や会社・店舗などの事業者を対象に、障害を理由として「不当な差別的取扱い」をすること、「合理的配慮」を提供しないことの2つを禁止しています。

「合理的配慮」の提供とは、障害のある人から障害に応じた配慮を必要としていると伝えられたとき、負担になり過ぎない範囲でその配慮を行うことです。具体例は、聴覚障害のある人に筆談で対応するなどが挙げられます。事業者にも努力義務があります。

障害者差別を受けたときは

対象	相談窓口
市職員による差別	対象部署、人事担当課
事業者による差別	事業者が設置する相談窓口、その事業を担当する部署（行政機関）、各種相談窓口

※市では、事業者による差別について、担当部署などへの相談によっても解決しない場合に、あっせんの出出ができる仕組みをつくりました。調整委員会が解決に向けた提案を行います

区役所窓口における手話通訳対応を充実しました

手話通訳者の配置

今年度、2つの区でモデル実施

- 中 区 火・金曜 8時45分～12時
- 戸塚区 水・木曜 13時30分～17時

 タブレット端末を活用した
 手話通訳対応の実施

障害者スポーツ文化センター横浜ラポールの手話通訳者と区役所窓口を通信機器（タブレット端末）で結び、画像と音声を通して、手話通訳を介した窓口対応を全区で実施

月～金曜 9時30分～17時
 第2・4土曜 9時30分～12時



タブレット端末を活用した手話通訳対応

※手話通訳者の派遣制度は今までどおり横浜ラポールに事前予約で利用できます

2 障害者差別解消支援地域協議会の開催

7月14日に第1回会議を開催。会長の選出、障害者差別解消に関する市の取組状

況の報告、啓発活動等に関する意見交換等を行いました。

この地域協議会は、障害を理由とする差別に関する相談事例の共有や情報交換を

行うとともに、障害を理由とする差別の解消に関する様々な課題の協議を役割として

います。第2回会議を11月下旬に予定しています。

3 障害者差別の相談に関する調整委員会の開催

6月30日に第1回会議（全体会議）を開催。委員長の選出、あっせんの手続に関する

検討等を行いました。

この調整委員会は、事業者への相談、事業の担当部署等への相談によっても解決が図

られない事案（事業者による差別事案）を対象に、本人等からの申出に基づき、小委員会

を編成してあっせんを行うことを役割としています。あっせんを行った場合は、事案の

概要を公表する予定です。第2回会議（全体会議）を11月上旬に予定しています。

4 障害者差別解消庁内推進会議の開催

障害者差別の解消を全庁的に推進するため、副市長をトップに全区局長により

構成する「障害者差別解消庁内推進会議」を設置しています。9月20日に第1回会議

を開催し、職員研修の推進、各職場の良い取組の共有、合理的配慮を推進していく

ための環境の整備の3つを当面の取組事項として共有しました。

第3期横浜市障害者プラン 市民説明会

横浜市では、障害福祉施策の中・長期的な計画として「第3期横浜市障害者プラン」を策定し、平成27年度から平成32年度までを計画期間として取り組んでいます。

このたび、「第3期横浜市障害者プラン市民説明会」において、平成27年度の取組状況と平成28年度の取組内容を説明し、皆さまから様々な御意見をいただきます。

1 日時・会場

回数	日程	時間	場所	定員
第1回	平成28年11月2日(水)	11時～12時30分	横浜市健康福祉総合センター4階ホール	250名
第2回	平成28年11月9日(水)	14時～15時30分	横浜ラポールラポールシアター	300名
第3回	平成28年11月13日(日)	11時～12時30分	戸塚公会堂講堂	550名

※ 開場時間は、第1回と第3回が10時45分、第2回が13時45分です。

※ 手話・筆記通訳あります。 ※ 各回とも内容は同じです。

2 プログラム

- 第3期横浜市障害者プランの取組について
- 会場の皆さまとの意見交換

3 お申込

お申込・参加費不要です。当日直接会場へお越しください。(先着順)

4 会場へのアクセス (裏面地図を参照)

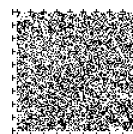
- 横浜市健康福祉総合センター**
所在地：中区桜木町1-1
アクセス：JR・市営地下鉄「桜木町駅」 徒歩2分
- 横浜ラポール**
所在地：港北区鳥山町1752
アクセス：JR「新横浜駅」(北口)・市営地下鉄「新横浜駅」(8番出口) 徒歩10分
※ 新横浜駅前(北口)からリフト付き送迎バス(障害者優先)を運行(無料)
- 戸塚公会堂**
所在地：横浜市戸塚区戸塚町127番地 戸塚センター3階
アクセス：JR・横浜市営地下鉄「戸塚駅」(西口) 徒歩5分

5 問合せ先

横浜市 健康福祉局 障害企画課
E-mail : kf-syoplan@city.yokohama.jp

電話 045 (671) 3603 FAX 045 (671) 3566

詳しくはURLを御覧ください。(http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/shogai/topics/plan/)



よこはましけんこうふくしそごうせんたー
【横浜市健康福祉総合センター】



- JR 京浜東北・根岸線 横浜市営地下鉄 (ブルーライン) 「桜木町駅」から徒歩2分
- お越しの際は、公共交通機関をご利用ください。(車不可)

※ 詳しくは、横浜市社会福祉協議会ウェブサイト (<http://www.yokohamashakyo.jp/sisyakyo/map.html>) を御覧ください。

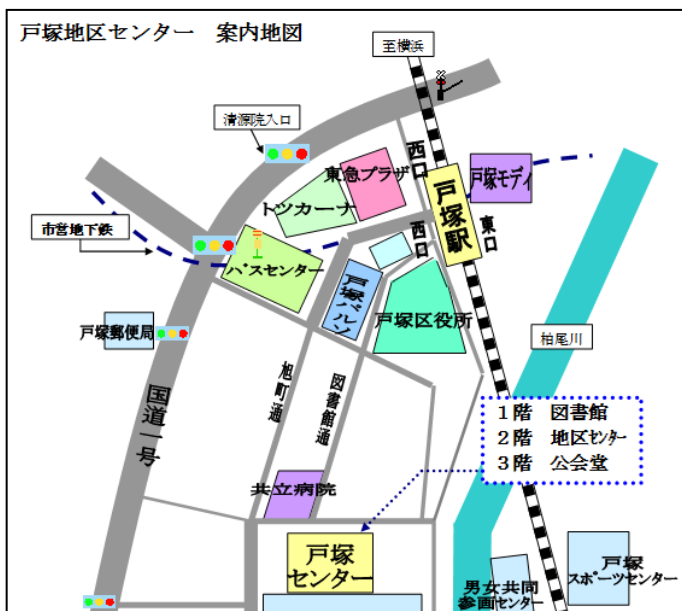
よこはまらぼーる
【横浜ラポール】



- JR 横浜線「新横浜駅」(北口)・横浜市営地下鉄「新横浜駅」(8番出口)から徒歩約10分
- ※ 新横浜駅前(北口)からリフト付き送迎バス(障害者優先)を運行(無料)
- 駐車場：有り(無料)
- ※ お越しの際は、可能な限り公共交通機関をご利用くださいますよう、御理解・御協力をお願いします。

※ 詳しくは、横浜ラポールウェブサイト (<http://www.yokohama-rf.jp/rapport/access/>) を御覧ください。

とつかこうかいどう
【戸塚公会堂】



- JR・横浜市営地下鉄「戸塚駅」(西口)から徒歩5分
- 駐車場：有り(34台 戸塚図書館・戸塚地区センターと共用)(無料)
- ※ お越しの際は、可能な限り公共交通機関をご利用くださいますよう、御理解・御協力をお願いします。

※ 詳しくは、とつか区民活動支援協会ウェブサイト (<http://koukaidou.chiiki-support.jp/access.html>) を御覧ください。

だい きよこはまししょうがいしゃ ぷらん とりくみ 第3期横浜市障害者プランにおける取組について

ひょう だい きよこはまししょうがいしゃ ぷらん だい しょう けいさい じぎょう しんちよくじょうきょう およ
この表は、「第3期横浜市障害者プラン」第3章 (p.41~127) に掲載している事業の「進捗状況」及び
へいせい ねんど もくひょう しめ
「平成28年度の目標」を示したものです。

てーま 1	であ つながる・助け合う	p.1
てーま 2	すむ、そして暮らす	p.13
てーま 3	まいにち あんしん すこ す 毎日安心して健やかに過ごす	p.22
てーま 4	い ちから まな はぐく 生きる力を学び・育む	p.38
てーま 5	はたら かつどう よか たの 働く・活動する・余暇を楽しむ	p.52

【凡例】

じぎょうめいらん
事業名欄
ひょうからん
評価欄

- ②：第2期横浜市障害者プランで、あんしん施策として開始した事業
- ：想定した目標を達成し、想定したとおりの効果が得られた。
- △：一定程度の効果は得られた。
- ×：想定した目標は達成できず、効果も得られなかった。

テーマ1 出会う・つながる・助け合う

とくくみ 取組1-1 普及・啓発

じぞくてき 持続的な普及・啓発の促進

事業名	事業内容	平成29 年度	平成32 年度	進捗状況 (平成27年度)	評価	平成28年度の目標
		進捗	進捗			
当事者や障害福祉関連施設、市民団体等による普及・啓発活動への支援	セイフティーネットプロジェクト 横浜や障害福祉関連施設、市民団体等による障害理解のための研修や講演、地域活動を支援・協働するなど、様々な普及・啓発を推進します。	進捗	進捗	・障害福祉関連施設が実施する障害理解に関する事業を経費面で支援しました。(4事業所) ・セイフティーネットプロジェクト横浜による出前講座の開催など、障害理解に向けた普及・啓発活動を実施しました。	○	引き続き、障害福祉関連施設が実施する障害理解に関する事業を経費面で支援するとともに、セイフティーネットプロジェクト横浜等の障害理解に係る普及啓発活動を通じた障害理解の推進に努めます。
障害者本人及び家族による普及・啓発活動の推進	社会参加推進センターが中心となり、障害者本人、家族及び各団体と連携・協働し、障害理解の促進に向けた普及・啓発活動を推進します。	進捗	進捗	冊子「心と手を貸してください」を各区地域防災拠点運営委員会や社会福祉協議会等で配布しました。 また、平成27年12月の障害者週間において、講演会を実施し、91人が参加しました。	○	横浜市障害者社会参加推進センター等により、普及啓発リーフレットの作成及び啓発講座等を実施します。

事業名	事業内容	平成29 ねんど 年度	平成32 ねんど 年度	進捗状況 (平成27年度)		平成28年度の目標
				進捗状況 (平成27年度)	ひょうか 評価	
疾病や障害に関する情報の発信	ホームページなどの媒体を活用し、疾病や障害に関する情報や支援に関わる活動を紹介し、市民や当事者・関係者の理解促進に努めます。	すすしん 推進	すすしん 推進	平成27年度の内容で情報を更新し、紹介しました。	△	引き続き、ホームページなどの媒体を活用して、疾病や障害に関する情報や支援に関わる活動の情報を更新していきます。
4校種 図画工作・美術・書道 作品展 特別支援教育部門 ~つたえたい ぼくのおもいわたしのきもち~の開催	4校種(小・中・高・特別支援)の幼児児童生徒の作品を一堂に集め、市民公開の作品展を開催することで、障害のある子どもの文化活動に関する普及・啓発を図ります。	すすしん 推進	すすしん 推進	平成28年1月21日(木)~25日(月) 横浜市民ギャラリーにて実施しました。 ・出品参加生徒数:2,172人 ・出品作品数:1,232点 ・見学者数合計:10,238人	○	平成29年1月25日(水)~30日(月) 横浜市民ギャラリーにて実施します。
各区の普及・啓発活動の促進	各区の住民に対して、疾病や障害等に対する理解を深めるための研修や啓発活動の支援を行います。	すすしん 推進	すすしん 推進	各区で障害をテーマとしたフォーラム、ボランティア入門講座、ふれあいスポーツ大会等を実施しました。	○	引き続き、各区において、地域の実情に合わせた「障害理解に関わる普及啓発活動」を企画・実施します。

がくれいき じゅうてんてき ふきゅう けいはつ
◆学齢期への重点的な普及・啓発

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい 平成29 ねんど 年度	へいせい 平成32 ねんど 年度	しんちよくじょうきょう 進捗状況 (平成27年度)		へいせい ねんど もくひょう 平成28年度の目標
				へいせい ねんど	ひょうか 評価	
がくれいき じどう およ ぼ 学齢期児童及び保 ごしゃ しょうがいりかい 護者への障害理解 けいはつ しんき 啓発【新規】	しな い とうじしゃ だんたい とう きょうりよく 市内の当事者団体等の協力を え しょうがいりかい すす きょうざい 得ながら、障害理解を進める教材 とう きょういくいいんかい れんけい 等を、教育委員会と連携しながら さくせい 作成します。また、それとともに、 がくれいき じどう ぼごしゃ しょうがいじ しゃ 学齢期児童と保護者が、障害児・者と いっしょ かが きかい ぼ 一緒に関わる機会の場合について、 じっしほうほう けんとう 実施方法を検討します。	すいしん 推進	すいしん 推進	きょういく いいんかい れんけい 教育委員会と連携し、 がくれいき む しょうがいりかい 学齢期に向けた障害理解 とりくみ しゅほう けんとう の取組手法を検討しまし た。	○	しな い とうじしゃ だんたい とう 市内の当事者団体等の きょうりよく え しょうがい 協力を得ながら、障害 りかい ための きょういく げんぼ む 理解のための教育現場向 しりょう さくせい け資料を作成します。
ふくがくせき こうりゅう 副学籍による交流 きょういくおよ きょうどうがく 教育及び共同学 しゅう 習	とくべつしえんがっこう ざいせき じどうせいと 特別支援学校に在籍する児童生徒 が、居住地の小・中学校の児童生徒 いっしょ まな きかい かくだい はか と一緒に学ぶ機会の拡大を図るな ごうりゅうきょういく きょうどうがくしゅう ど、交流教育と共同学習を すす とくべつしえんがっこう 進めるとともに、特別支援学校の じどうせいと たい ひつよう きょういくてきし 児童生徒に対する必要な教育的支 えん きょじゅうち がっこう おこな 援を、居住地の学校においても行い しょう ちゅうがっこう じどうせいと ます。小・中学校の児童生徒には、 しょうがいじ しゃ たい りかい ふく こころ 障害児・者に対する理解を含め、心 しょうへき こころ の障壁をつくらない「心の ぼりあぶりー」をめぐ めぎ バリアフリー」を育むことを目指し ます。	すいしん 推進	すいしん 推進	ふくがくせき こうりゅうきょういく 副学籍による交流教育を じっし 実施しました。 じっしじどうせいとすう にん ・実施児童生徒数：220人 しょうがくぶ にん ちゅうがくぶ (小学部：206人、中学部： にん 14人)	△	ふくがくせきこう しえん ・副学籍校への支援のため、 たんとうきょういん しえん おこな 担当教員が支援を行える ようにします。 さんか ないよう じゅうじつ ・参加する内容の充実 じゅぎょうとう はか (授業等)を図ります。 ぼごしゃとう じぎょう しゅうち ・保護者等への事業の周知 すす を進めます。 てび かにてい すす ・手引きの改訂を進めます。

とりくみ とうだんし えん
取組1-2 相談支援

そうだんし えんたいせい さいこうちく じゅうじつ
◆相談支援体制の再構築と充実

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい 平成29 ねんど 年度	へいせい 平成32 ねんど 年度	しんちよくじょうきょう 進捗状況		へいせい ねんど もくひょう 平成28年度の目標
				へいせい ねんど (平成27年度)	ひょうか 評価	
そうだんし えんじぎょう しゅう 相談支援事業の周 ち およ ぶきゅう けいはつ 知及び普及・啓発	しょうがいしゃ かぞく みぢか きかん 障害者やその家族が身近な機関に あんしん そうだん 安心して相談することができるよ う、身近な相談者を対象として、 そうだん し えん じぎょう しゅうち けいはつ 相談支援事業の周知、啓発を おこな 行います。	すいしん 推進	すいしん 推進	かくく く じりつ 各区において、区自立 し えんきょうぎかいとう きかい かつよう 支援協議会等の機会を活用 し、随時相談支援事業の しゅうち おこな 周知を行いました。	△	く じりつし えんきょうぎかい しゅうち 区自立支援協議会での周知 を継続するとともに、 けいぞく 各障害者団体や事業所 れんらくかいとう しゅうち 連絡会等においても周知、 けいはつ と く 啓発に取り組みます。
そうだん し えん じゅうじしゃ 相談支援従事者の じんざいいくせい 人材育成	よこはまし じりつし えんきょうぎかい い か し じりつ 横浜市自立支援協議会(以下「市自立 し えんきょうぎかい さくせい 支援協議会」といいます。)で作成し た「横浜市相談支援従事者人材育成 びじょん ちと じんざいいくせい ビジョン」に基づき、人材育成を すす 進めます。	すいしん 推進	すいしん 推進	けんしゅうとう じんざいいくせい 研修等において、人材育成 びじょん はいふ しゅうち ビジョンを配付し、周知を おこな 行いました。 また、研修体系に基づいて けんしゅう けんしゅうたいけい ちと 研修の企画・運営を行い、 こうかてき じんざいいくせい はか 効果的な人材育成を図って います。	△	よこはまし しょうがいしゃ じりつ し えんきょう 横浜市 障害者 自立 支援協 ぎかい じんざいいくせい ぶかい 議会 人材育成部会におい て、人材育成 ビジョンの ないよう みなお 内容を見直すとともに、 じんざいいくせい びじょん ちと 人材育成ビジョンに基づい た研修の実施につなげら れるように検討を 行いま す。

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい 平成29 ねんど 年度	へいせい 平成32 ねんど 年度	しんちよくじょうきょう 進捗状況		へいせい ねんど (平成27年度)	ひょうか 評価	へいせい ねんど もくひょう 平成28年度の目標
とうじしゃ 当事者による相談 の充実	しゃかいさんかすいしんせんたーせつち 社会参加推進センターに設置する ピア相談センターでの当事者相談を けんしょうとうじしゃ 検証し、当事者による相談支援を すいしん 推進します。	じっせき 実績の けんしょう 検証	18区の しゃかいふく 社会福 祉法人 がたちかつ 型地活 ほーむ ホーム におい て派遣 相談の かつよう 活用	しゃかいふくしほうじんがたちいきかつどうほ 社会福祉法人型地域活動ホ ーむの相談支援担当者会議 にて、ピア相談センターの しゅうちおこな 周知を行いました。			△	びあそだんいんけんしゅうかつよう ピア相談員研修を活用し、 びあそだんいんすきるあつぷ ピア相談員のスキルアップ を図ります。 また、きかんそだんしえんせんた ーとピア相談員との関係づ くりに取り組みます。
きそん 既存の相談窓口 (地域ケアプラザ 等)による連携	ひごろかかなかなにげかいわ 日頃の関わりの中で、何気ない会話 ぶく に含まれている相談を身近な相談者 としてとらえ、必要に応じて、一次 および二次相談支援機関につなげま す。	すいしん 推進	すいしん 推進	ちいきけあぶらざ 地域ケアプラザにおいて、 しょうがい 障害に関する相談を受け、 ひつようおうてきせつきかん 必要に応じて適切な機関へ つなげました。 また、かくたんとうちいきかだい 各担当地域の課題に おうしょうがいじしゃたいしょう 応じた、障害児・者を対象 とした自主事業を実施しま した。 そだんけんすうけん 相談件数：1,622件 じしゅじぎょうかいすうかい 自主事業回数：3,189回 さんかしゃすうにん 参加者数：43,437人			○	ちいきけあぶらざしょうがい 地域ケアプラザは、障害に かんそだん 関する相談について、みじか な相談者として受け止め、 そだんしゃうと 内容によって自主事業や ないようじしゅじぎょう 活動団体を紹介、あるいは いちじおよにじそだんしえんきかん 一次及び二次相談支援機関 へつなげます。 また、ちいきけあぶらざ 地域ケアプラザにお いて、かくたんとうちいきかだい 各担当地域の課題に おうしょうがいじしゃたいしょう 応じた、障害児・者を対象 とした自主事業を実施しま す。

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい 平成29 ねんど 年度	へいせい 平成32 ねんど 年度	しんちよくじょうきょう 進捗状況 へいせい ねんど (平成27年度)		へいせい ねんど もくひょう 平成28年度の目標
					ひょうか 評価	
しじりつしえんきょうぎかい 市自立支援協議会と くじりつしえんきょうぎかい 区自立支援協議会の れんけい れんどう 連携・運動	かくく かいさい 各区で開催されている区自立支援 きょうぎかい とりくみ けんどうないよう 協議会での取組や検討内容を、市 じりつしえんきょうぎかい しさくてんかい 自立支援協議会での施策展開にい かすため、れんけい れんどう しく 連携・運動の仕組みを せいり 整理します。	すいしん 推進	すいしん 推進	くじりつしえんきょうぎかい 区自立支援協議会との れんけい れんどう む しじりつ 連携・運動に向けて、市自立 しえんきょうぎかい いいんこうせい み 支援協議会の委員構成の見 なお おこな 直しを行いました。	△	しじりつしえんきょうぎかい かいさい 市自立支援協議会の開催 じき こていか 時期を固定化することで、 く かだいほうこくしょ じんそく 区からの課題報告書に迅速 たいおう しく こうちく に対応する仕組みを構築 し、しじりつしえんきょうぎかい く 市自立支援協議会と区 じりつしえんきょうぎかい れんどうせい 自立支援協議会の連動性を たか より高めます。
くいき こ おうだんてき 区域を超えた横断的 けんとう すいしん な検討の推進	くいき かいけつ かだい きょうゆう 区域で解決できない課題の共有 あら しゃかい しげん そうせつ や、新たな社会資源の創設に む けんとう しじりつしえんきょうぎかい 向けた検討、市自立支援協議会へ しさくていあん じょうほうていきょう の施策提案（情報提供）などを もくてき くいき こ けんとう 目的として、区域を超えた検討の ば せっち 場を設置します。	すいしん 推進	すいしん 推進	ぶろっくれんらくかい かいさい ブロック連絡会を開催し、 きんりんく じょうほう きょうゆう 近隣区の情報を共有する とともに、かお み 顔の見える かんけいせい こうちく れんけい 関係性を構築し、連携につ なげています。	△	ぶろっくれんらくかい くいき ブロック連絡会が区域で かいけつ かだい きょうゆう 解決できない課題の共有 ば の場となるように、 ぶろっくれんらくかい かいさいほうほう ブロック連絡会の開催方法 けんとう について検討します。
なんびょうかんじゃ そうだん 難病患者への相談 しえん じっし 支援の実施（▷の こうもく 項目）	いりょう ふくし せいかつとう かん ちしき 医療、福祉、生活等に関する知識を え なんびょういりょうこうえんかい 得るための難病医療講演会や、 せいかつじょう くふう じょうほう 生活上の工夫などについて情報 こうかん おこな こうりゅうかいとう 交換を行うための交流会等を、 ひ つづ じっし 引き続き実施します。	—	—	なんびょうこうえんかいおよ こうりゅうかいとう 難病講演会及び交流会等 かくく じっし を各区にて実施しました。 かいさいじっせき かい (開催実績：203回)	△	ひ つづ なんびょういりょうこうえんかい 引き続き、難病医療講演会 こうりゅうかいとう かくく じっし や交流会等を各区で実施 します。

事業名	事業内容	平成29	平成32	進捗状況		平成28年度の目標
		ねんど 年度	ねんど 年度	ねんど (平成27年度)	ひょうか 評価	
発達障害者支援センター運営事業	発達障害者支援センターの職員が各区に出向き、区の職員と一緒に相談を受ける特定相談日を設けます。	特定相談日実施区 18区 (平成27年度)	推進	18区で「特定相談日」を設定し、相談を実施しました。 (相談実績：18区計44件)	○	引き続き、18区で「特定相談日」を設定し、相談を実施します。 関係機関との連携を推進するための仕組みを検討します。
高次脳機能障害に関わる関係機関の連携促進(▷の項目)	高次脳機能障害に対する支援ニーズに対応するため、高次脳機能障害支援センターと地域の関係機関との連携を促進します。	—	—	高次脳機能障害者に対する専門相談支援事業を6区の中途障害者地域活動センターで実施しました。 また、関係機関に事業の周知を行いました。	○	高次脳機能障害の相談が、身近な地域で行えるよう、専門相談支援事業を実施する拠点を4か所(中区、南区、緑区、栄区)増やし、10か所で実施します。

とりくみ じょうほう ほししょう
取組1-3 情報の保障

ぎょうせいじょうほう ごうりてきはいりよ すいしん
◆ 行政情報における合理的配慮の推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい 平成29 ねんど 年度	へいせい 平成32 ねんど 年度	しんちよくじょうきょう 進捗状況 (平成27年度)	へいせい ねんど もくひょう 平成28年度の目標
こみゆにけーしょん コミュニケーション ボード・カードの かつようそくしん 活用促進	もじ ことば による こみゆにけー 文字や言葉によるコミュニケー ションが苦手な人が、ボードや ションが苦手な人が、ボードや カードに描かれた絵や記号を指さす カードに描かれた絵や記号を指さす ことで、意思を伝えやすくする ツールの活用を継続して行います。 ツールの活用を継続して行います。	—	—	せいふてい-ねっとぶろじ セイフティネットプロジ ェクト横浜において、こみ ュにけーしょんボード・カ ードの活用を推進するため の研修会を開催したほか、 ちいきぼうさいきよてんとう かつよう 地域防災拠点等で活用する こみゆにけーしょんボード (災害用)を増刷しました。	ひつづ ことばにけーし 引き続き、コミュニケーシ ュンボード・カードの活 用・普及を推進します。 用・普及を推進します。

事業名	事業内容	平成29 年度	平成32 年度	進捗状況 (平成27年度)		平成28年度の目標
				進捗状況 (平成27年度)	評価	
合理的配慮を踏まえた情報発信のルール化【新規】	視覚障害者、聴覚障害者及び知的障害者等への情報提供について、行政情報発信のルール化、ガイドライン等の作成を検討します。	推進	推進	<p>障害者差別解消の推進に関する取組指針や障害を理由とする差別解消の推進に関する職員対応要領に基づき、障害のある人の意向を確認し、場面に応じて考え、対応していくことを本市の対応の基本としました。</p> <p>区役所窓口における手話通訳対応を検討しました。</p>	○	<p>これまで実施してきた本市の取組を引き続き推進するとともに、障害のある人の意向を確認し、場面に応じて考え、対応していくことを推進します。</p> <p>聴覚障害のある人の情報の保障に関する取組として、区役所窓口における手話通訳対応の充実を図ります。</p>

とりくみ さいがいたいさく
取組1-4 災害対策

さいがいじ じじよ きょうじよ こうじよ しんどう
◆災害時の自助・共助・公助の浸透

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい 平成29 ねんど 年度	へいせい 平成32 ねんど 年度	しんちよくじょうきょう 進捗状況		へいせい ねんど もくひょう 平成28年度の目標
				へいせい ねんど (平成27年度)	ひょうか 評価	
さいがいじ ようえんごしやし 災害時要援護者支 えんじぎょう 援事業	さいがいじ じりきひなん ごんなん よう 災害時に自力避難が困難な要 えんごしやし あんびかくにん ひなんしえん 援護者の安否確認や避難支援 とう かつどう えんかつ おこな 等の活動が円滑に行われるよ う、「情報共有方式」の実施 じょうほうきょうゆうほうしき じっし 等を通じて、災害に備えた日頃 とう つう さいがい そな ひごろ からの地域での自主的な ちいき じしゆてき ささ あ とりくみ しえん 支援合いの取組を支援します。	さいがいじ よう 災害時要 えんごしやし 援護者支 えん とりくみ 援の取組 じっし を実施し ている自 ちかい ちやう 治会・町 ないかい わり 内会の割 あい 合 パーセント :80 %	すいしん 推進	ちいき じつじょう おう さまざま さいがい 地域の実状に応じた様々な災害 じょうえんごしやしえん とりくみ じっし 時要援護者支援の取組を実施して ちく ぞうか いる地区が増加しました。	△	さいがいじ ようえんごしやし しえん 災害時要援護者支援の とりくみ じっし 取組を実施している ちく ふ 地区を増やします。
しょうがいしゃ しえんしゃ 障害者・支援者に よるキャラバン隊 はけん しえん じぎょう 派遣 支援 事業 【新規】	かくく じっし ちいき ぼうさい 各区で実施される地域防災 きよてんくんれん せいふていーねっ 拠点訓練に、セイフティーネッ とぶるじえくとよこはま さんか トプロジェクト横浜が参加し やすいように支援し、障害 とくせい せつめい 特性を説明します。そして さんかしゃ たい しょうがいしゃ ぼ 参加者に対し、障害者へのボ ランティア支援や障害児・者 とのコミュニケーションにつ りかい ほか いて、理解を図ります。	すいしん 推進	すいしん 推進	せいふていーねっ とぶるじえくと セイフティーネットプロジェクト よこはま きょうりよく え ちいき ぼうさい 横浜の協力を得て、地域防災 きよてんくんれん しょうがいりかい かが 拠点訓練において障害理解に係 る出前講座を実施しました。さら でまえこうざ じっし に、出前講座の活用が推進される かくく やくしよ しゅうち よう、各区役所に周知しました。	△	ひ つづき せいふていー 引き続き、セイフティー ねっ とぶるじえくと よこ ネットプロジェクト 横 はま じっし しょうがい 浜が実施している障害 りかい かが でまえ こうざ とう 理解に係る出前講座等 ちいき ぼうさい きよてん くんれん とう を地域防災拠点訓練等 かつよう で活用いただけるよう、 かくく ちいき ぼうさい きよてん 各区の地域防災拠点の かいぎ とう しゅうち 会議等で周知するとと もに、地域防災拠点訓練 さんか しく に参加しやすい仕組み けんとう を検討します。

事業名	事業内容	平成29 年度	平成32 年度	進捗状況 (平成27年度)		平成28年度の目標
				進捗状況	評価	
障害種別災害時対応マニュアルの作成【新規】	災害発生直後から復興期に至る期間において、障害種別ごとの対応マニュアルを作成します。	対応マニュアルの内容検討	対応マニュアルの作成	障害種別ごとの特性等が記載された障害者理解啓発冊子「心と手を貸してください」を各区地域防災拠点運営委員会で配付しました。	△	災害時要援護者への具体的な対策等について、関係局で検討を進めます。
地域防災拠点における障害者体験【新規】	各地区、年1回開催される地域防災拠点訓練のメニューとして、障害者体験を実施できるよう支援します。	推進	推進	セイフティーネットプロジェクト横浜が実施している障害理解に係る出前講座等を地域防災拠点訓練等で活用いただけるよう、各区役所に周知しました。	△	引き続き、セイフティーネットプロジェクト横浜が実施している障害理解に係る出前講座等を地域防災拠点訓練等で活用いただけるよう、各区の地域防災拠点の会議等で周知します。
区局障害者災害対策会議【新規】	災害発生時における区福祉保健センター、健康福祉局のそれぞれの役割及び連携方法について、検討します。市域を越えた連携・搬送方法についても検討します。	区局障害者災害対策会議の実施	推進	会議開催の検討を行いました。	△	有効な連携手法について、検討します。

事業名	事業内容	平成29 年度	平成32 年度	進捗状況 (平成27年度)		平成28年度の目標
				進捗状況 (平成27年度)	評価	
障害者 災害 対策 会議【新規】	障害者、支援者、事業者、地域 及び行政等が災害時における 共助について、検討する場を 設けます。また、その検討の中 で自助の役割も明確にします。 市域内の相互連携応援体制の 構築を検討します。	障害者 災害対策 会議の 実施	推進	会議開催の検討を行いました。	△	会議の方向性の決定を し、平成29年度から開催 する準備を進めます。
障害種別応急備 蓄物資連携事業 【新規】	ストマ用装具など障害特性に 応じた応急備蓄物資につい て、保管場所が可能な施設をそ れぞれ公募するなど、保管に 向けた検討を行います。	推進	推進	ストマ用具を保管するロッカーを 設置可能な場所の検討・調整を 行いました。	△	ストマ用具を保管する ロッカーを設置し、希望 者の募集・保管を開始し ます。

テーマ2 住む、そして暮らす

とりくみ 取組 2-1 住まい

◆ 障害状況に合わせた住まいの充実

事業名	事業内容	平成29 年度	平成32 年度	進捗状況 (平成27年度)	ひょうか 評価	平成28年度の目標
		へいせい ねんど 年度	へいせい ねんど 年度	しんちやくじょうきよう へいせい ねんど 年度		へいせい ねんど もくひょう
こうどうしょうがい 行動障害のある かたす けんとう 方の住まい検討 【新規】	ひつよう 必要とされる支援などを整理し、 しえんたいせい 支援体制のある生活の仕組みづくり について、けんとう 検討を進めます。	すいしん 推進	すいしん 推進	「知的障害者の住まい 検討部会」を全7回開催 し、行動障害のある方の すまいに係る報告書を取り まとめました。	○	「知的障害者の住まい 検討部会」報告書を踏まえ、 行動障害のある方への 支援力向上を図るための 「支援力向上研修」を 開催するほか、必要な支援 体制の構築に向けた検討を 進めます。
さぽーとほむ サポートホーム 事業 ② (発達障害者に 対する生活支援の 推進)	はったつしょうがい 発達障害のある入居者に対し、生 活支援を行うことで、地域での ひとりくらしに向けた準備を支援する 「サポートホーム」について、効果を 検証しながら進めます。	すいしん 推進	すいしん 推進	発達障害者の地域生活に 関する支援を行うとともに、 研修等で取組を周知 しました。	○	引き続き、サポートホーム において、発達障害者の 地域生活に向けた支援・ 検証を実施します。

事業名	事業内容	平成29 年度	平成32 年度	進捗状況 (平成27年度)	ひょうか 評価	平成28年度の目標
		へいせい ねんど 年度	へいせい ねんど 年度	しんちよくじょうきょう へいせい ねんど (平成27年度)		
養護老人ホーム整備事業(視覚障害者の入所)【新規】	環境上の理由及び経済的理由により、居宅において養護を受けることが困難な高齢者が入所する民設民営の養護老人ホーム(平成27年度末開所予定)を港南区野庭町の旧野庭小学校跡地に整備します。その一部居室において、視覚障害者を受け入れます。	視覚障害者の入所実施	推進	・平成28年2月1日に養護老人ホーム「野庭風の丘」が開所しました。 ・視覚障害者の方を6名まで受け入れることができようになりました。	○	視覚障害者の受け入れを開始します。
身体障害者・高齢者の住宅改造及び模様替え	市営住宅に入居している障害者等の要望に対し、トイレや浴室への手すりの取付などの住宅改造を実施します。	推進	推進	平成28年3月末現在、次のとおり実施しました。 ・住宅改造59件(障害者対応24件・高齢者対応35件) ・模様替承認154件	○	市営住宅に入居している障害者等の要望に対し、トイレや浴室への手すりの取付などの住宅改造を実施します。

事業名	事業内容	平成29年度	平成32年度	進捗状況 (平成27年度)		平成28年度の目標
		ねんど	ねんど	ねんど	ひょうか 評価	ねんど もくひょう
障害者支援施設の再整備	耐震基準を満たしていない、または老朽化している障害者支援施設について、ユニット化・個室化を進めつつ建て替えを行います。	工事完了 2か所	施設状況等により検討	・障害者支援施設「恵和青年寮」等の再整備について、平成27年度に完了する予定でしたが、出来高65%の達成となりました。 ・障害者支援施設「偕恵」等の再整備について、出来高20%を達成しました。	△	・障害者支援施設「恵和青年寮」等の再整備について、建築工事を完了しました。 ・障害者支援施設「偕恵」等の再整備について、建築工事を完了します。
障害児施設の整備・再整備 (あ)	市所管3か所目の重症心身障害児施設を整備するとともに、老朽化が進んでいる障害児入所施設の再整備・ユニット化を進めます。	工事完了 4か所	施設状況等により検討	次のとおり実施しました。 ・新重症心身障害児施設（正式名称：横浜医療福祉センター港南）しゅん工 ・白根学園児童寮（正式名称：ぶどうの実）しゅん工 ・ぽらいと・えき着工 ・横浜療育医療センター設計済	○	次のとおり整備を進めます。 ・ぽらいと・えき新築しゅん工 ・既存棟改修工事着工 ・横浜療育医療センター（正式名称：横浜医療福祉センター港南）の開所

事業名	事業内容	平成29	平成32	進捗状況		平成28年度の目標
		年度	年度	(平成27年度)	評価	
公立障害者支援施設(横浜市松風学園)の再整備の検討	障害者支援施設である横浜市松風学園の担うべき役割や求められる機能について、検証しながら、再整備を検討します。	すすん 推進	すすん 推進	市内の知的障害者の住まい全般について検討する中で、施設の位置付けと再整備との関連を整理しながら検討しています。	△	施設が担うべき役割や求められる機能から、再整備の検討に必要な整理を行います。
民間住宅あんしん入居事業	家賃等の支払能力はあるものの、連帯保証人が確保できないことなどを理由に民間賃貸住宅への入居に困窮している障害者等に対して、協力不動産店による物件の紹介と民間保証会社を利用した家賃保証により入居の機会を増やします。	すすん 推進	すすん 推進	・神奈川県宅地建物取引業協会等の関係各所や関係局との連絡調整会議において、制度の検討を行いました。 ・各区において、制度概要が記載されたチラシを配布する等の周知活動を行いました。	△	入居者、オーナー、不動産店の制度利用促進につながるよう、着実に制度を運営し、障害者の居住安定の確保に努めていきます。
民間住宅入居の促進【新規】	グループホーム等から民間賃貸住宅への転居や、その後の単身生活が安心して送れるための仕組みについて検討し、実施します。	すすん 民間 住宅 入所の 仕組み 検討・ 実施	すすん 推進	「精神障害者の住まい検討部会」を全2回開催し、精神障害者の住まいに係る報告書を取りまとめました。	○	精神障害者を対象とした「住まいに関する意識調査」を実施します。

◆^{こうれいか}高齡化・^{じゅうどか}重度化を踏まえた^す住まいの^{こうちく}構築

事業名	事業内容	平成29	平成32	進捗状況		平成28年度の目標
		ねんど 年度	ねんど 年度	進捗状況 (平成27年度)	ひょうか 評価	
<p>高齡化・重度化対応のグループホームの検証・検討 (▷の項目)</p>	<p>現在実施している重度化対応グループホームやモデル事業の高齡化対応グループホームの検証を行い、今後も進んでいくことが見込まれる障害者の高齡化・重度化を見据えて、一日を通して安心して暮らせる住まいの確保を目指して、持続的に実現可能な住まいの形を構築します。</p>	—	—	<p>高齡化対応グループホームについて、実施法人から提出された中間報告書に基づき課題を共有しました。</p>	△	<p>高齡化対応グループホームのモデル事業について、引き続き、検討を進めます。また、重度化対応グループホームの取組を基に、グループホームの重度化対応について、社会資源の活用など様々な選択肢も含めて検討します。</p>
<p>高齡化・重度化対応バリアフリー改修事業</p>	<p>グループホームを利用する障害者が高齡になり、それに伴う身体機能の低下等により、従来のホームの設備で生活することが困難となる場合でも、居住しているホームで安心して生活し続けることができるよう、バリアフリー等改修に係る経費を補助します。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>応募がなかったため、実績はありませんでした。</p>	△	<p>高齡化に伴う身体機能の低下等があっても居住しているホームで安心して生活し続けることができるよう、バリアフリー等改修に係る費用を補助します。</p>

とりくみ
取組 2-2 暮らし

◆地域での生活を支える仕組みの充実

事業名	事業内容	平成29 年度	平成32 年度	進捗状況 (平成27年度)		平成28年度の目標
				進捗状況 (平成27年度)	評価	
地活ホームの運営	地活ホームは、地域における拠点として設置してきました。これからも、障害福祉に関わる社会資源の中心として、より利用しやすい拠点となるよう、社会福祉法人型・機能強化型地活ホームの両方について、地域における役割や位置付けを明確にするため、改めて検討し、機能の充実を図ります。	すいしん 推進	すいしん 推進	地域のニーズを考え、区役所と連携して、柔軟な事業展開が行えるよう、一部、機能の充実を図りました。 また、役割や位置付けについて、関係部署等と課題共有をしました。	△	関係部署等と共有した課題について、役割や位置付けをより明確にし、機能の充実を行うための検討をします。
生活支援センターの運営	設置当初の居場所機能だけでなく、既存のサービスを整理・再構築した上で、早期対応や生活支援センターに來られない方など、精神障害者の相談機能に重点を置いた支援の充実を図ります。	すいしん 推進	すいしん 推進	3か所の生活支援センターでモデル事業を実施し、効果の検証を行った結果、相談支援機能の充実を確認しました。	○	相談機能に重点を置いた支援の充実を目的として、平成27年度に行ったモデル事業の本格導入を含め、引き続き、既存のサービスの整理・再構築を行っています。

事業名	事業内容	平成29年度	平成32年度	進捗状況 (平成27年度)		平成28年度の目標
				進捗状況 (平成27年度)	評価	
多機能型拠点の整備・運営 ㊦	重症心身障害児・者など、常に医療的ケアが必要な人やその家族の地域での暮らしを支援するため、相談支援、生活介護、訪問看護サービス及び短期入所などを一体的に提供できる多機能型拠点の整備を市内方面別に進めます。	開所 2か所 (累計4か所)	開所 2か所 (累計6か所) (整備完了)	【整備】 ・西部方面多機能型拠点(仮称)については、平成28年1月に工事に着手しました(平成29年度開所予定)。 ・市内4館目の整備予定地について、選定の検討を行いました。 【運営】 (うんえい) 既に開所している2施設の運営状況や現状の課題等について、法人と共有しました。	△	【整備】 ・市内3館目である西部方面多機能型拠点(仮称)について、建築工事をしゅん工します。 ・市内4館目の整備予定地の選定を進めます。 【運営】 多機能型拠点の運営面における課題について、2施設と共有しながら、3館目の開所を進めていきます。
メディカルショーとステイシステム ㊦	医療的ケアが必要な重症心身障害児・者を、在宅で介護する家族の負担軽減と在宅生活の安定を目的として、一時的に在宅生活が困難となった場合などに、病院での受け入れを実施します。	すいしん 推進	すいしん 推進	年間延べ107件の、受け入れを実施しました。(平成28年3月末現在登録者数：165人)	○	引き続き、推進します。

事業名	事業内容	平成29年度	平成32年度	進捗状況 (平成27年度)		平成28年度の目標
				進捗状況	評価	
精神障害者の家族支援事業 ㊤	精神障害者とその家族が適切な関係を保つため、緊急滞在場所を準備するとともに、家族が精神疾患について理解を深める機会を提供します。	すいしん 推進	すいしん 推進	適切に緊急滞在場所を運営しました。 また、講習会については市内4地区にて開催しました。	○	「緊急避難場所」については、対象要件等の見直しも想定し運営していきます。 また、「講習会」も実施団体とより緊密に連絡を取り合い、適切に実施します。 (市内4地区)

◆本人の生活力を引き出す支援の充実

事業名	事業内容	平成29年度	平成32年度	進捗状況 (平成27年度)		平成28年度の目標
				進捗状況	評価	
自立生活アシスタント ㊤	地域で単身等で生活する障害者に対して、自立生活アシスタントが、その障害特性を踏まえて、具体的な生活場面での社会適応力を高める助言を中心とした支援を行います。	事業所数 40か所 (全区実施) げんじょう (現状:3 6か所)	すいしん 推進	全事業所に対して、事業所訪問を実施し、事業について共有を行ったほか、自立生活アシスタント向けの各種研修について、全7回実施し、支援の質の向上を図りました。	○	平成28年4月に精神1か所(西区)を開始し、全40事業所で事業を実施します。 また、各種研修実施や事業所訪問等を通じて、事業の質の維持向上を図ります。

事業名	事業内容	平成29年度	平成32年度	進捗状況 (平成27年度)		平成28年度の目標
				進捗状況 (平成27年度)	評価	
後見的支援制度 ㊦	障害者本人に障害福祉サービスに係る支援が必要とされていない時から関係性を持つことにより、「親亡き後も安心して地域生活が送れる仕組みの構築」を行います。	全区実施 (現状:14区)	推進	新たに実施区を2区(港南区、青葉区)増やし、実施区を16区に拡大しました。	○	実施区を拡大し、全区展開します。(新規2区、計18区)
消費者教育事業 ㊦	障害者や家族及び支援者が、商品・サービスの利用及び契約に関わるトラブル等を学ぶことにより、安心して日常生活を送れるよう、意識啓発を図ります。	推進	推進	・経済局、教育委員会事務局、健康福祉局の3局が連携し、特別支援学校の生徒を対象とした出前講座を2校で実施しました。 ・3局が連携し、特別支援学校教諭を対象とした教員研修を実施しました。	○	引き続き、3局が連携して、児童生徒及び教員等を対象とした講座や研修を実施します。

テーマ3 毎日安心して健やかに過ごす

とりにくみ 取組3-1 健康・医療

医療環境のさらなる整備

事業名	事業内容	平成29 年度	平成32 年度	進捗状況 (平成27年度)	評価	平成28年度の目標
		へいせい ねんど ねんど	へいせい ねんど ねんど	しんちよくじょうきょう へいせい ねんど ねんど	ひょうか ひょうか	へいせい ねんど ねんど もくひょう
じゅうどしんけいなんびょうかんにゃ 重度神経難病患者 ざいたくしえんしすてむ 在宅支援システム こうちく しんき の構築【新規】	はつびょう すうねん きゅうそく しんこう 発病から数年で急速に進行する しんけいなんびょうかんにゃ たい ざいたくしえん 神経難病患者に対する在宅支援 しすてむを、せんもんいりょうきかん ざいたく システムを、専門医療機関・在宅 りはびりてーしょんとう ほけん いりょう リハビリテーション等の保健・医療 かんけいしゃ しょうがいふくし さーびす じぎょうとう 関係者と障害福祉サービス事業等 との連携により、構築します。	すいしん 推進	すいしん 推進	りはせんたーから きんいしゆく ・リハセンターから筋萎縮 せいそくさくこうかしょう しんだん おこな 性側索硬化症の診断を行 いりょうきかん たい しんだん う医療機関に対し、診断 ちよくご ざいたくしえん 直後からの在宅リハビリ てーしょん じぎょう かつよう テーション事業の活用 について情報提供を行いました。 じょうほうていきょう おこな ついて情報提供を行いました。 ・区保健師とリハセンター しゃくほけんし りはせんたー 職員による とうこう ほうちん 同行訪問や じょうほうきょうゆう とく 情報共有に取り組みま した。	○	ざいたくりはびりてーしょんじ 在宅リハビリテーション事 ぎょう 業において、医療機関との れんけい すいしん はっしょうそうき 連携を推進し、発症早期か らの支援を行います。 しえん おこな 加えて、継続的支援に向け、 けいぞくてきしえん む 医療機関と訪問看護事業 いりょうきかん ほうちんかんと じぎょう 者やケアマネジャー等との しゃ けあまねじゃーとう 連携を推進します。 れんけい すいしん 連携を推進します。
なんびょうかんにゃ ざいたくりょう 難病患者在宅療 ようけいかくさくてい ひょうか 養計画策定・評価 じぎょう 事業	ざいたくなんびょうかんにゃ たい ほけん いりょう 在宅難病患者に対し、保健・医療・ ふくし かくさーびす てきせつ ていきょう 福祉の各サービスを適切に提供す るために、関係者が合同でサービス かんけいしゃ とうどう さーびす 内容を検討します。	すいしん 推進	すいしん 推進	ちゃくじつ すいしん 着実に推進しました。(実 じつ 施回：1回)	△	ちゃくじつ すいしん 着実に推進します。

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい 平成29 ねんど 年度	へいせい 平成32 ねんど 年度	しんちよくじょうきょう 進捗状況 (平成27年度)		へいせい ねんど もくひょう 平成28年度の目標
				へいせい ねんど	ひょうか 評価	
なんびょうかんじゃいちじにゅう 難病患者一時入院事業	いりょう いそんど たか なんびょう かんじゃ 医療依存度の高い難病患者が かいじよしゃ じじょう 介助者の事情により、在宅で介助を う 受けることが困難になった場合、 いちじてき にゅういん 一時的に入院できるようにします。	すいしん 推進	すいしん 推進	ちやくじつ すいしん 着実に推進しました。 のべりようにつすう 9 2 0 日、延 (延利用日数920日、延 りようにんすう 1 2 3 人) 利用人数123人)	○	ちやくじつ すいしん 着実に推進します。
けんこうのーと 健康ノート	しょうがいじ しゃ じぶん す ちいき いりょう 障害児・者が自分の住む地域の医療 きかん じゅしん さい かつよう 機関で受診する際に活用できる けんこうのーと 「健康ノート」について、あり方を けんとう 検討します。	かた あり方 けんとう の検討	けんとう 検討 けっか 結果 による	くやくしょとう はいふ 区役所等で配付している、 けんこうのーと 「健康ノート」について、 へいせい ねんどいこう けんとう 平成28年度以降にあり方 けんとう を検討します。	△	かた けんとう あり方を検討します。
いりょう じゅうじしゃ けんしゅう 医療従事者研修 じぎょう 事業 ㊤	しつぺい しょうがい しょうにおよ じゅうしょうしん 疾病や障害のある小児及び重症心 しんしょうがいじ しゃ しえん ひつよう ちしき 身障害児・者の支援に必要な知識・ ぎじゅつ こうじょう はか しょうがいとくせい りかい 技術の向上を図り、障害特性を理解 いりょうじゅうじしゃ いくせい した医療従事者を育成するための けんしゅう じっし 研修を実施します。	すいしん 推進	すいしん 推進	いりょう きかん ふくし しせつ とう 医療機関や福祉施設等に きんむ かんごし たいしょう 勤務する看護師を対象 に、「小児訪問看護・重症 しんしん しょうがいじしゃ けんしゅう 心身障害児者研修」を じっし 実施しました。	○	ひ つづ びょういんとう きんむ 引き続き、病院等に勤務す いりょうじゅうじしゃむ しょうがい る医療従事者向けに、障害 とくせい りかい しえん ひつよう 特性の理解や支援に必要な ちしき ぎじゅつこうじょう もくてき 知識・技術向上を目的とし けんしゅう じっし た研修を実施します。

事業名	事業内容	平成29 ねんど 年度	平成32 ねんど 年度	進捗状況 （平成27年度）		平成28年度の目標
				進捗状況 （平成27年度）	評価	
障害福祉施設等で働く看護師の支援 ㊤	障害福祉施設等で働く看護師の定着に向けた支援を行うとともに、確保の方策について検討します。	推進	推進	法人型地域活動ホーム15か所に対して、歯科医師を派遣し、巡回相談事業（現場に即した助言または障害者の摂食・嚥下に関する研修）を実施しました。	○	法人型地域活動ホームに対して、歯科医師を派遣し、巡回相談事業（現場に即した助言または障害者の摂食・嚥下に関する研修）を実施します。
重度障害者等入院時コミュニケーション支援事業 ㊤	入院先医療機関の医師・看護師等との意思疎通が十分に図れない障害児・者を対象に、入院先コミュニケーション支援員を派遣します。	推進	推進	制度対象となる支援について、制度周知を図りました。事業費実績は、前年度と比較して2割ほど増加しました。（平成26年度：1,471千円→平成27年度：1,896千円）	○	今後、他制度の動向に合わせた整理を行いながら、引き続き、制度周知を図ります。
肺炎球菌ワクチン接種助成事業 ㊤	肺炎に罹患した場合に危険性が高い内部障害の身体障害者手帳所持者に対し、引き続き23価肺炎球菌ワクチン接種費用の一部を助成します。	推進	推進	制度改正に伴い対象者の範囲を変更したことにより、接種率は前年度と比較して11%増加しました。（平成26年度：3.1%→平成27年度：14.9%）	○	成人用肺炎球菌ワクチン接種事業の動向と併せて整理を行いながら、引き続き、制度の周知を行います。

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい 平成29 ねんど 年度	へいせい 平成32 ねんど 年度	しんちよくじょうきょう 進捗状況 へいせい ねんど (平成27年度)		へいせい ねんど もくひょう 平成28年度の目標
					ひょうか 評価	
いりょうきかんれんけいじぎょう 医療機関連携事業 ㊤	しょうがいじ しゃ みぢか ちいき てきせつ 障害児・者が身近な地域で適切な いりょう う かんきょう 医療が受けられる環境づくりを すいしん しょうがいとくせいとう りかい 推進するため、障害特性等を理解し てきせつ いりょう ていきょう いりょうきかん 適切な医療を提供できる医療機関 を増やします。	すいしん 推進	すいしん 推進	ちてき しょうがいしゃ たいおう せんもん ・知的障害者対応専門 がいらい よこはま あいばら びょういん 外来を横浜相原病院と しうんかい よこはま びょういん 紫雲会 横浜 病院の2 びょういん じっし 病院で実施しました。 しな いりょう ていきょう しせつ ・市内医療提供施設の いりょう じゅうじしゃ たいしやう 医療従事者を対象とし たりょうあんぜんけんしゅうかい た「医療安全研修会」に おいて、しょうがいしゃ しえん かが において、障害者支援に係 るこうえん おこな る講演を行いました。	○	ちてき しょうがいしゃ たいおう せんもん がいらい 知的障害者対応専門外来 せつちいりょうきかん かくだい の設置医療機関を拡大し、 びょういん じっし 3病院で実施します。
めでいかるしょー メディカルショー とすていしすてむ トステイシステム 【再掲】㊤	いりょうてき け あ ひつよう じゅうしょうしんしんしょう 医療的ケアが必要な重症心身障 がいじ しゃ ざいたく かいご かぞく 害児・者を、在宅で介護する家族の ふたんけいげん ざいたくせいかつ あんてい もくてき 負担軽減と在宅生活の安定を目的と して、いちじてき ざいたくせいかつ こんなん して、一時的に在宅生活が困難とな ったばあい びょういん う 受け入れ 場合などに病院での受け入れ じっし を実施します。	すいしん 推進	すいしん 推進	てーま 2 とりくみ く テーマ2 取組2-2の暮らしに内容を掲載しています。		
ざいたくりょうようじ ちいき 在宅療養児の地域 せいかつ ささ ねっ 生活を支えるネッ とわーくれんらくかい トワーク連絡会	しょうがいじ しゃ いりょう にゅういん ざいたく 障害児・者の医療（入院・在宅）に かか いりょうかんけいしゃ ちゅうしん ふくし 関わる医療関係者を中心に、福祉・ きょういく かんけいしゃ たいしやう ざいたく 教育関係者を対象として、在宅 しえん ひつよう じょうほうこうかん じんてきこうりゅう 支援に必要な情報交換や人的交流 つう しょうがい りかい そくしん を通じて、障害理解を促進します。	すいしん 推進	すいしん 推進	ねっ とわーく れんらくかい ネットワーク 連絡会 が じっし がくしゅうかいとう 実施する学習会等（2 かい うんえいしえん おこな 回）の運営支援を行いました。	○	ひ つづ すいしん 引き続き、推進します。

事業名	事業内容	平成29 年度	平成32 年度	進捗状況 (平成27年度)		平成28年度の目標
		ねん ど	ねん ど	ねん ど	ひ ょう か 評 価	
医療機関ネットワーク等の構築【新規】	障害児・者の在宅生活を支えるための医療機関の支援体制とネットワークを検討し、構築を図ります。	実態把握 及び医 療ネッ トワーク 検討と 構築	推進	医療機関ネットワークの構築を行いつつ、医療的ケア等に関する実態把握に向けた調整を行いました。	○	重症心身障害児・者を対象とした医療的ケア等に関する実態把握のための調査を実施します。
歯科保健医療推進事業 (心身障害児・者歯科診療)	歯科診療の機会に恵まれない心身障害児・者に対する歯科治療の確保を、引き続き、図ります。	推進	推進	次のとおり歯科診療の機会を確保しました。 ・歯科保健医療センター 診療日：月～土（祝祭日・年末年始を除く） 診療時間：9時～17時（予約制） 平成27年度診療患者数：延べ9,773人 ・心身障害児者歯科診療協力医療機関：215か所（平成28年度）	○	引き続き、歯科診療の機会に恵まれない心身障害児・者に対する歯科治療の確保を図っていきます。

◆参加しやすい健康づくり施策の推進

事業名	事業内容	平成29 年度	平成32 年度	進捗状況 (平成27年度)		平成28年度の目標
				進捗状況 (平成27年度)	評価	
参加しやすい健康づくり事業の検討 (▷の項目)	本市が目指す健康寿命日本一に向けて、健康スタンプラリーのように障害者も楽しみながら健康づくりに取り組めるよう、障害者団体とも協力しながら、障害特性等にも配慮した健康づくり・介護予防事業を検討します。	—	—	障害のある方が多く参加するイベントを、健康スタンプラリーの対象事業として導入しました。	△	障害のある方が多く参加するイベントにおいて、健康スタンプラリーの導入や他の健康づくり施策の導入を検討します。
健康づくり環境の整備 (▷の項目)	障害特性を理解した横浜ラポールのスタッフ等の人的資源や専用設備を有する関連施設を生かし、障害者に必要な体力づくりやリハビリテーションが地域で行えるよう、地域の人材育成も含めた環境の整備を進めます。	—	—	身近な地域でスポーツ活動に取り組むことができるよう、7区(鶴見区、旭区、金沢区、青葉区、戸塚区、さかえく、せやく、だんたい)で団体や施設、人材等のネットワークを構築しました。 (27年度、新規ネットワーク構築区：青葉区、栄区)	△	新たに2区でネットワークの構築を図ります。

きゅうきゅういりょうたいせい じゅうじつ
◆ 救急医療体制の充実

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい 平成29 ねんど 年度	へいせい 平成32 ねんど 年度	しんちよくじょうきょう 進捗状況 (へいせい ねんど 平成27年度)		へいせい ねんど もくひょう 平成28年度の目標
					ひょうか 評価	
せいしん か きゅうきゅう 精神科救急 いりょうたいさく じぎょう 医療対策事業	せいしんしつかん きゅうげき はっしょう せいしんしょう 精神疾患の急激な発症や精神症 じょう あつか ざっきゅう てきせつ 状の悪化などで、早急に適切な せいしんか いるりょう ひつよう ばあい 精神科医療を必要とする場合に、 せいしん ほけん ふくしほう ちと しん さつ 精神保健福祉法に基づく診察や びょういん しょうかい おこな ひつよう 病院の紹介を行うとともに、必要 いりょうしせつ かくほ どう な医療施設を確保すること等によ きゅうきゅうかんじゃ えんかつ いりょうおよ り、救急患者の円滑な医療及び ほご はか 保護を図ります。	83.5 ばーせんと % (市内 びょういん 病院に たい 対する 3次 きゅうきゅう 救急 いそうさき 移送先 びょういん 病院の わりあい 割合)	85.0 ばーせんと % (市内 びょういん 病院に たい 対する 3次 きゅうきゅう 救急 いそうさき 移送先 びょういん 病院の わりあい 割合)	かんじゃ かんじゃ かぞく ふたん 患者や患者家族の負担を けいげん しゅう かい 軽減するために、週2回 ていど ゆうがた うけいれびょういん 程度、夕方の受入病院が すく じかんたい しな 少なくなる時間帯に市内 うけいれいりょう きかん かくほ 受入医療機関を確保しま した。これにより、3次 きゅうきゅうはんそうさきびょういん しな 救急搬送先病院の市内 びょういんわりあい か こ ねんかん 病院割合は、過去5年間 へいきん ばーせんと 平均で83.3%となりま した。	○	かんじゃ かんじゃ かぞく ふたん 患者や患者家族の負担を けいげん へいじつゆうがた 軽減するために、平日夕方 やかん しな から夜間にかけて市内 びょういん しゅう かい しゅう かい 病院を週2回から週3回 きょうか に強化します。 また、しんや たいおう みんかん 深夜対応する民間 びょういん ぶ 病院を増やすことにより、 じ きゅうきゅう いそうさき びょういん 3次救急移送先病院の しな びょういん わりあい ばーせんと 市内病院割合83.5% を目標とし、迅速な対応を めざし 目指します。
せいしんしつかん がっぺい 精神疾患を合併す る身体救急患者 しんたいきゅうきゅうかんじゃ の救急医療体制 せいび じぎょう 整備事業	せいしんしつかん がっぺい しんたいきゅうきゅうかんじゃ 精神疾患を合併する身体救急患者 てきせつ いりょうきかん えんかつ はんそう を適切な医療機関へ円滑に搬送でき るよう、きゅうきゅういりょうたいせい こうちく 救急医療体制を構築しま す。	すいしん 推進	すいしん 推進	せいしんしつかん とくていしじょう 精神疾患のうち特定症 じょう ゆう しんたい きゅうきゅう 状を有する身体救急 かんじゃ たいおう びょういんぐん 患者に対応する病院群を せいび いっぱんきゅうきゅうびょういん 整備し、一般救急病院 たい ばっくあつ たい に対するバックアップ体 せい うんよう すたーと 制の運用をスタートさせ ました。	○	せいしんしつかん とくていしじょう 精神疾患のうち特定症 じょう しんたいきゅうきゅうかんじゃ 状を有する身体救急患者に たいおう びょういんぐん 対応する病院群について、 とうしょ さんかく そうてい 当初参画を想定していた びょういん さんかく ひ 病院が参画するよう、引き つづ ちょうせい おこな 続き、調整を行っていき ます。

とりくみ ばりあふりー
取組3-2 バリアフリー

ばりあふりー ふきゅう けいはつ そくしん
◆バリアフリーの普及・啓発の促進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい 平成29 ねんど 年度	へいせい 平成32 ねんど 年度	しんちよくじょうきょう 進捗状況 (へいせい ねんど 平成27年度)		へいせい ねんど もくひょう 平成28年度の目標
					ひょうか 評価	
しみん じぎょうしゃ 市民や事業者へ む けた ふきゅう けいはつ 向けた普及・啓発 (▷の項目)	こうれいしゃ しょうがいしゃとう ふく すべ ひと 高齢者、障害者等を含む全ての人 そうご こうりゅう ささ あ 相互に交流し、支え合うとともに、 あんぜん えんかつ たてもの せつび りよう 安全かつ円滑に建物や設備を利用す るためには、しょうがい ただ りかい 障害への正しい理解が ひつよう ひろ しみん じぎょうしゃ む 必要なため、広く市民や事業者へ向 けた普及・啓発を進めます。	—	—	てーま1 とりくみ テーマ1 取組1-1の普及・啓発内で対応していきます。		

ばりあふりー すいしん
◆さらなるバリアフリーの推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい 平成29 ねんど 年度	へいせい 平成32 ねんど 年度	しんちよくじょうきょう 進捗状況 (へいせい ねんど 平成27年度)		へいせい ねんど もくひょう 平成28年度の目標
					ひょうか 評価	
ふくし 福祉のまちづくり じょうれいすいしんじぎょう 条例推進事業	よこはま かか すべ ひと たが 「横浜に関わる全ての人がお互いを そんちょう たす あ ひと やさ 尊重し、助け合う、人の優しさにあ ふれたまちづくり」を実現するため、 はーど しせつ せつび せいび そふ と ハード（施設・設備の整備）とソフト （おもいやり の 心の 育成）を一体的に と りく む 組 み、 福祉 の まち づ くり を 推 進 します。	すいしん 推進	すいしん 推進	しな い しょうがっこう ねんせい こ 市内小学校4年生に子 む りー ふ れ っ と はい も向けリーフレットを配 ぶ 布したほか、しよくいんとう 職員等を たいしょう けんしゅう かいさい 対象とした研修を開催 しました。	○	こ ども 向け リーフレットの はいふ しょういんとう たいしょう 配布や、職員等を対象と した けんしゅう かいさい 研修の開催などによ り、ふくし 福祉のまちづくりを すいしん 推進します。

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい 平成29 ねんど 年度	へいせい 平成32 ねんど 年度	しんちよくじょうきょう 進捗状況 (へいせい ねんど 平成27年度)		へいせい ねんど もくひょう 平成28年度の目標
					ひょうか 評価	
こうきょうこうつう きかん 公共交通機関の ぼりあふりーか バリアフリー化	だれ いどう かんきょう せいび 誰もが移動しやすい環境整備の いっかん てつどう えきしゃ え 一環として、鉄道駅舎へのエ レベーター等の設置及びノン ステップバスの導入促進を図りま す。	すいしん 推進	てつどうえきしゃ 鉄道駅舎 への エレベーター 等の設置： 100% (対象は 1日の 利用者 3,000人 以上の駅) ノンステッ プバス 導入率： 70%	てつどうえきしゃ えれべーター ・鉄道駅舎エレベーターの 設置は、平成29年度の利用 開始を目指し、事業者と 協議を開始しました。 (設置96.0%) ・ノンステップバス導入 に係る経費の一部を補助 しました。(導入率67.6 %)	○	みんえい ばす じぎょうしゃ のんす 民営バス事業者にノンス テップバス導入に係る経 費の一部を補助すること により、導入率の向上を図 ります。
ぼりあふりー バリアフリーの すいしん 推進 (バリアフリー 基本構想の検討・ 策定)	えき ちゅうしん ちく たいしよう 駅を中心とした地区などを対象 として、バリアフリー法に基づき、 まちのバリアフリー化の方針・計画 である「バリアフリー基本構想」の 策定を、引き続き、進めます。	かくく 各区の しゅようえき 主要駅 への 策定(18 地区) 完了	みさくてい 未策定 地区の 新規策定 等を推進	つぎ 次のとおり取り組みまし た。 ・市が尾駅周辺地区：基本 構想策定(17地区で策定 完了) ・十日市場駅周辺地区： まちあるき点検実施	○	つぎ 次のとおり取り組みます。 ・十日市場駅周辺地区： 基本構想策定(18地区で 策定完了見込み) ・戸塚区：基本構想の策定に 向けた検討に着手

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい 平成29 ねんど 年度	へいせい 平成32 ねんど 年度	しんちよくじょうきょう 進捗状況 (へいせい ねんど 平成27年度)		へいせい ねんど もくひょう 平成28年度の目標
					ひょうか 評価	
ぼりあふりー バリアフリーの すいしん 推進 (ぼりあふりー ほこうくわん せいび 歩行空間の整備)	えきしゅうへん ぼりあふりーか すいしん 駅周辺のバリアフリー化を推進す るため、バリアフリー基本構想に基 づき、道路のバリアフリー化を、引 つづ すす き続き、進めます。	ぼりあふ バリアフ リーかせい りー化整備 びえんちよう 備延長 るいけい 累計36 きろめーとる k m	ぼりあふり バリアフリ ーかせいび ー化整備 えんちよう 延長 るいけい 累計42 きろめーとる k m	へいせい ねんど ぼりあふりー 平成27年度、バリアフリー か せいびえんちよう きろめーとる 化整備延長を33.5 k m おこな 行いました。	○	えきしゅうへん ぼりあふりーか 駅周辺のバリアフリー化 すいしん ぼりあふ を推進するため、バリアフ リー基本構想に基づき道路 のバリアフリー化整備延 ちょう きろめーとる もくひょう 長35.5 k mを目標に すす 進めます。
よこはまし こうきょう さ い ん 横浜市公共サイン が い ど ら い ん ガイドラインの かいてい 改訂	こうきょう きかん せつち ほ 公共機関により設置される歩 こうしゃようあんない ゆうどう さ い ん きかく 行者用案内・誘導サインの規格や ひょうじないようとう どういつ はか 表示内容等の統一を図るための が い ど ら い ん かいてい ガイドラインを改訂します。	かいてい 改訂 が い ど ガイド ら い ん ライン うんよう の運用	かいてい 改訂 が い ど ガイド ら い ん ラインの うんよう 運用	た と し じ れ い し ゅ う し ゅ う け っ か 他都市の事例収集結果 と、とうきょう お り ん び っ く と、東京オリンピック・ ば ら り ん び っ く どうこう パラリンピックの動向を ふ かいてい ぜ ひ 踏まえて、改訂の是非の けんとう つづ 検討を続けています。	○	とうきょう お り ん び っ く 東京オリンピック・ ば ら り ん び っ く どうこう パラリンピックの動向を踏 まえ、じょうほうしゅうしゅうおよ かいてい 情報収集及び改訂 けんとう を検討していきます。
がっこうしせつ ぼりあ 学校施設のバリア フリー	え れ べ ー た ー せいび がっこうしせつ エレベーターの整備など、学校施設 のバリアフリー化を進め、しょうがいじ のバリアフリー化を進め、障害児が まな かんきょう せいび 学びやすい環境を整備します。	すいしん 推進	すいしん 推進	へいせい ねん がつまつじてん 平成28年3月末時点で しょう ちゅうがっこう こうちゅう 小・中学校488校中、 153校にエレベーターを せいび 整備しました。	○	くるまいす しょう せいと 車椅子を使用する生徒など の在籍状況に基づき、 がっこう きょうぎ うえ よさん 学校と協議の上で予算の はんいない せいび すす 範囲内で整備を進めていき ます。

とりくみ けんりようご
取組 3 - 3 権利擁護

しょうがいしゃぎゃくたいぼうし とりくみ しんとう
◆ 障害者虐待防止の取組の浸透

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい 平成29 ねんど 年度	へいせい 平成32 ねんど 年度	しんちよくじょうきよう 進捗状況 (へいせい ねんど 平成27年度)		へいせい ねんど もくひよう 平成28年度の目標
					ひようか 評価	
しょうがいしゃ ぎゃくたい たいさく 障害者虐待対策 じぎょう 事業 ふきゅう けいはつ (普及・啓発)	しみん むりーふれつと さくせいとう 市民向けのリーフレット作成等によ り広報を行います。 また、これまでの虐待事例を検証 した上で、障害福祉サービスの事 業者等を対象とした研修を実施 します。	すいしん 推進	すいしん 推進	へいせい ねん がつ しょうがい 平成 27 年 10 月に 障害 福祉サービス事業者等向 けに研修を実施しまし た。		しみん むけ りーふれつと ・市民向けのリーフレット 作成等により広報を行 います。 ・これまでに発生した虐待 事例を踏まえて、障害福祉 サービス事業者等への 啓発として、障害者虐待 に関する研修を実施しま す。

しょうがいしゃさべつかいしょうほう もと とりくみ
◆ 障害者差別解消法に基づく取組

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい 平成29 ねん 年度	へいせい 平成32 ねん 年度	しんちよくじょうきょう 進捗状況 (へいせい ねん 平成27年度)	ひょうか 評価	へいせい ねん どりくみ 平成28年度の目標
しょうがいしゃ さべつかいしょう 障害者差別解消 ほうしこう む たい 法施行に向けた対 おう しんき 応【新規】	ほんし こんご とりくみ しょうがい 本市の今後の取組について、障害 とうじしゃ がくしき けいけんしゃ とう こうせい 当事者、学識経験者等で構成する かいぎ けんとう かいぎ 会議において検討します。また、会議 けんとう けっか ぐ たいてき とりくみ の検討結果をもとに、具体的な取組 すいしん を推進します。	へいせい 平成27 ねん 年度 けんとう 検討の うえ とりくみ 取組を すいしん 推進	—	しょうがいしゃ さべつかいしょう けんとう ぶ ・ 障害者差別解消検討部 かい しょうがいしゃ さべつ 会において、障害者差別 かいしょうほう せこう とちな 解消法の施行に伴って よこはまし おこな 横浜市が行うべきことに けんとう ついて検討していただき、 へいせい ねん がつ けんとう 平成27年11月に検討のま ていげん とめとして提言をいただ きました。 しょうがいしゃ さべつかいしょう けんとう ぶ ・ 障害者差別解消検討部 かい ていげん う へいせい ねん 会の提言を受け、平成28年 がつ ほんし とりくみ かんが 2月に本市の取組の考え かた とりくみ ないよう しめ 方や取組の内容を示した とりくみ しん さくてい 取組指針を策定しました。	○	—
し しょういん たいおう ようりょう 市職員対応要領 さくてい およ しゅうち の策定及び周知 しんき 【新規】	ほんし しょういん てきせつ たいおう おこな 本市職員が適切な対応を行っている しんき さべつてきとりあつか くための指針として、差別的取扱い え じれい ごうりてき はいりよ となり得る事例や、合理的な配慮の こうじれいとう ふく たいおう ようりょう さくてい 好事例等を含む対応要領を策定し、 し しょういん しゅうち およ しんとう ほか 市職員への周知及び浸透を図りま す。	すいしん 推進	すいしん 推進	し しょういん たいおう ようりょう へいせい ・ 市職員対応要領を平成 ねん がつ さくてい ちょうない 28年3月に策定し、庁内 しゅうち へ周知しました。 ほうりつ がいよう し しょういん たい ・ 法律の概要や市職員対 おう ようりょう ないよう 応要領の内容について、 へいせい ねん がつ まつ がつ 平成28年2月末から3月 まつ しょういん けんしゅう じっし 末まで、職員研修を実施 しました。	○	し しょういん たいおう ようりょう とう りかい 市職員対応要領等の理解 ふか を深めるための職員研修 じっし を実施します。

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい 平成29 ねんど 年度	へいせい 平成32 ねんど 年度	しんちよくじょうきょう 進捗状況 (平成27年度)		へいせい ねんど もくひょう 平成28年度の目標
				ひょうか 評価		
しみん ふきゅう けいはつ 市民への普及・啓発 【新規】	しょうがい りゆう さべつ かいしょう あ 障害を理由とする差別の解消に当 たっては、しみん かたがた かんしん りかい を深めていただくことが何よりも たいせつ 大切であることから、しみん む 広報および啓発活動を効果的に実施し ます。	すいしん 推進	すいしん 推進	こうほう じんけんとくしゅう ・広報よこはま人権特集 ごう き じ けいさい 号への記事掲載のほか、区 やくしょ りーふれっ 役所におけるリーフレッ と はいふとう おこな トの配布等を行いました た。 しょうがいしゃ さべつ かん じ ・障害者差別に関する事 れい ぼしゅう よ ぜん 例の募集で寄せられた全 じれい こうひょう 事例を公表しました。 ほんし とりくみ ないようとう しめ ・本市の取組の内容等を示 とりくみしん こうひょう した取組指針を公表しま した。	○	こうほう ・広報よこはまへの記事 けいさいのほか、しょうがい ひと 掲載のほか、障害のある人 へのけいはつかつどう への啓発活動などに取り組 みます。 しょうがい ひと しょうがい ・障害のある人と障害の ない人の交流を通した りかいそくしん とりくみ けんとう 理解促進の取組を検討しま す。
そうだんたいせいとう せいび 相談体制等の整備 【新規】	しょうがいしゃ さべつ かん そうだん ぶんそう 障害者差別に関する相談、紛争の ぼうしとう たいせい せいび 防止等のための体制を整備すると もに、その周知を図ります。また、 そうだんおよ ぶんそう ぼうしとう ちいき 相談及び紛争の防止等を地域におい てすいしん 推進するためのちいききょうぎかい 地域協議会を そしき 組織します。	すいしん 推進	すいしん 推進	くに かんが かつた ぶ ・国の考え方を踏ま え、市職員による障害者 さべつ じぎょうしゃ しょうがい 差別、事業者による障害 しゃさべつ そうだんまどぐち けつてい 者差別の相談窓口の決定、 かくにん おこな 確認を行いました。 さら そうだんたいおう ・更に、相談対応によつて かいけつ はか じぎょう も解決が図られない事業 しゃ さん さん さん 者による差別事案につい てしどくじ て市独自にあっせんの仕事 く ちゆう 組みを設けました。	○	そうだんたいおう かん しみん ・相談対応に関する市民へ の周知を、引き続き、行い ます。 そうだんじれい ちくせき よこはまし ・相談事例を蓄積し、横浜市 しょうがいしゃ さべつ かいしょう しえん ちいき 障害者差別解消支援地域 きょうぎかいとう きょうゆう 協議会等で共有します。

事業名	事業内容	平成29年度	平成32年度	進捗状況 (平成27年度)		平成28年度の目標
				進捗状況 (平成27年度)	評価	
法施行後の実施状況の検証【新規】	本市の取組の実施状況を確認するとともに、課題の確認及びその後の取組の方向性に関する検討を定期的に行う仕組みを構築します。	推進	推進	取組の実施状況は、毎年、横浜市障害者差別解消支援地域協議会及び障害者差別解消庁内推進会議に報告を行う仕組みとしました。	○	障害者差別解消に関する取組の実施状況をまとめ、横浜市障害者差別解消支援地域協議会、障害者差別解消庁内推進会議に報告を行います。

◆ 成年後見制度の利用促進

事業名	事業内容	平成29年度	平成32年度	進捗状況 (平成27年度)		平成28年度の目標
				進捗状況 (平成27年度)	評価	
横浜市市民後見人養成・活動支援事業	地域における権利擁護を市民参画で進めるため、横浜生活あんしんセンターが全区で市民後見人の養成を実施し、区役所、市・区社会福祉協議会、専門職団体等が連携した活動支援の体制を構築します。	推進	推進	平成28年3月末現在、全区で70名が市民後見人バンクに登録しています。また、市民後見人バンク登録者から13名が家庭裁判所に選任され、実際に後見人として活動しています。引き続き、市民後見人を候補者とした申立てが進むように取組を進めていきます。	○	市民後見人バンク登録者を候補者とした申立てが、市内全域で行えるようになります。バンク登録者が少ない区を対象に養成課程を実施します。

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい 平成29 ねん ど 年度	へいせい 平成32 ねん ど 年度	しんちよくじょうきょう 進捗状況 へいせい (平成27年度) ねん ど	へいせい 平成28年度の目標 ねん ど もくひょう
ほうじんこうけんしえんじぎょう 法人後見支援事業	よこはませいかつ 横浜生活あんしんセンターが、これ までのほうじんこうけんじゆにんじっせき 法人後見受任実績を踏まえ て、市内のしゃかいふくしほうじんと う 社会福祉法人等への法人 こうけんじっしむ 後見実施に向けた支援を行います。	すいしん 推進	すいしん 推進	へいせい 平成27年8月に第1回の れんらくかい 連絡会を開催し、各団体等 の課題や、ほうじんこうけんじゆにんだん 法人後見受任団 たい 体から情報提供を行っ てもらい、じょうほう 情報を共有し ました。平成28年2月には、 けんきょう 県と共催でほうじんこうけん 法人後見に関 わる方等を対象にフォー ラムを実施しました。 また、しょうがいしゃ 障害者の成年後見 せいど 制度へのニーズ把握のた め、しょうがいしゃほんにん 障害者本人や親族等 たいあんけーととう に対しアンケート等を実 し 施し、せいねんこうけんせいど 成年後見制度利用の じつたい 実態を調査しました。	よこはましない 横浜市内においてほうじんこうけん 法人後見 じぎょう 事業を実施するほうじんおよ び かつどうじゆんぴ 活動準備を進めている団体 を支援するため、れんらくかい 連絡会を かいさい 開催します。 また、しょうがいぶんや 障害分野における せいねんこうけんせいど 成年後見制度を推進するた め、しょうがいしゃ 障害者の家族及び しえんしゃむ 支援者向けのパンフレット をさくせい 作成します。
せいねんこうけんせいど 成年後見制度の利 ようそくしん 用促進に向けた関 けい 係団体との検討 【新規】	けんしゅう 研修や事例などを通じて、べんごし 弁護士、 しほう 司法書士及び行政書士等と、 しょうがいしゃ 障害者の成年後見制度の せいど 利用促進 む に向けた検討を行います。	すいしん 推進	すいしん 推進	べんごし 弁護士等を講師に招き、 こうけんてき 後見的支援室の職員を たいしょう 対象とした後見的制度に かか 係る勉強会を開催しまし た。	せいねんこうけんせいど 成年後見制度の利用促進に む 向け、こうけんてき 後見的支援室の職員 とべんごし と弁護士との意見交換会を じっし 実施します。

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい 平成29 ねんど 年度	へいせい 平成32 ねんど 年度	しんちよくじょうきよう 進捗状況 へいせい (平成27年度)		へいせい ねんど もくひょう 平成28年度の目標
					ひょうか 評価	
けんりようごじぎょう 権利擁護事業	けんり まも そうだん けいやく ちと 権利を守るための相談や契約に基づ く 金銭管理サービスなどの日常 せいかつ しえん く せんたー 生活の支援を、区あんしんセンター が、契約に基づいて実施します。	すいしん 推進	すいしん 推進	へいせい ねん がつまつげんざい けいやく 平成28年3月末現在の契約 けんすう けん 件数は 728件となってい ます。引き続き、必要な ひ つづ ひつよう りようしゃ かた じぎょう かつよう 利用者の方に事業を活用 いただけるよう とりくみ すいしん 推進していきます。	○	ひ つづ けんりようご かか 引き続き、権利擁護に係る とりくみ すいしん けいやくけん 取組を推進します。(契約件 すう けん 数：777件)

テーマ4 いきる力を学び・育む

とりくみ 取組4-1 療育

◆早期療育体制の充実

事業名	事業内容	平成29 年度	平成32 年度	進捗状況 (平成27年度)	ひょうか 評価	平成28年度の目標
		ねんど 年度	ねんど 年度	へいせい ねんど 年度		へいせい ねんど 年度 目標
ちいきりょういく 地域療育 せんたーうんえいじぎょう センター運営事業	しょうがい 障害がある、またはその疑いのあ る児童の地域における療育体制の じゅうじつ 充実などを目的として運営を おこな 行います。 また、くふくしほけんせんたー 区福祉保健センターの療育相 だん 談へのスタッフ派遣、関係機関への じゅんかいほうもん 巡回訪問による技術支援、障害児 そうだんしえんとう 相談支援等を行います。	しよしんたいき 初診待機 期間 3.0月 (現状 3.5月)	すいしん 推進	しよしん 初診までの待機期間は 3.4か月になりました。 ・相談員を増員するなど、 相談体制を一部強化しま した。	△	しよしん 初診までの待機期間を 3.2か月にします。 ・相談体制を充実します。
ちいきくんれんかい 地域訓練会 うんえいひ 運営費 じよせいじぎょう 助成事業	しょうがいじ 障害児の保護者等が自主的に組織 し、地域で機能回復訓練や保育を行 う、地域訓練会の運営費を助成しま す。	すいしん 推進 げんじょう (現状 69団体)	すいしん 推進	うんえいひ 運営費を助成し、事業を 推進しました。	○	ひ 引き続き、推進します。

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい 平成29 ねんど 年度	へいせい 平成32 ねんど 年度	しんちよくじょうきょう 進捗状況 (へいせい ねんど 平成27年度)		へいせい ねんど もくひょう 平成28年度の目標
					ひょうか 評価	
ほうかごとう 放課後等における いばしよ じゅうじつ 居場所の充実 こうもく (▷の項目)	ほうかごとうでいさーびすじぎょうしよ たい 放課後等デイサービス事業所に対し けんしゅう じっし どう しょうがいじしえん しつ 研修を実施する等、障害児支援の質 こうじょう む とりくみ じゅうじつ の向上に向けた取組を充実しま す。	—	—	へいせい ねんど かいせつ 平成27年度に開設した しんきじぎょうしよ たい けんしゅう 新規事業所に対して研修 おこ じぎょうしよ を行いました。(29事業所) よこはましばん ほうかごとう ・「横浜市版 放課後等 でいさーびすがいどらいん デイサービスガイドライン 」を策定しました。 しないく ねつとわーく ・市内1区でネットワーク じぎょう もでる じっし おこな 事業のモデル実施を 行い ました。	○	しんきしていじぎょうしよけんしゅう ・新規指定事業所研修を じっし 実施します。 こうたい かんりしや じどうはったつ ・交代した管理者、児童発達 しえん かんり せきにんしや しゅうだん し 支援管理責任者に集団指 導を実施します。 ちよくせつしどういんむ しょうがいじ ・直接指導員向けの障害児 しえん かん けんしゅう じっし 支援に関する研修を実施 します。 けんしゅうないよう へいせい ねんど ・研修内容は、平成27年度 に策定したガイドライン及 びネットワーク事業での ちゅうしゅつかだい はんえい ないよう 抽出課題を反映した内容 とします。
がくれい こうき しょうがいじ 学齢 後期 障害児 しえんじぎょう 支援事業	いし そーしゃるわーかー とう 医師、ソーシャルワーカー等の すたっふ はいち がくれいこうき しゅ スタッフを配置し、学齢後期の主と はったつしょうがい じどう たいしやう して発達障害のある児童を対象と して、ししゅんき 思春期におけるそれぞれの かだい かいけつ む しんりやう そうだんおよ 課題の解決に向けた診療、相談及び かんけいき かん ちやうせいとう おこな 関係機関との調整等を行います。	4か所 げんじやう (現状 かしょ 3か所)	すいしん 推進	しよ じぎょうしよ しえん 3か所の事業所で支援を じっし しんきりやう 実施しました。(新規利用 しや にん そうだん しんりやう 者：631人、相談（診療） たいおう けん 対応：16,592件) はったつしょうがいけんとういんかい ・発達障害検討委員会に おいて、しよめせつち 4か所目設置の ひつようせい ていげん 必要性についての提言を う 受けました。	△	はったつ しょうがい けんとう いいんかい 発達障害検討委員会の ていげん ふ しよめ 提言を踏まえ、4か所目 せつち けんとう すず 設置の検討を進めます。 がっこう くやくしよ また、学校や区役所などへ、 じぎょうりかい しゅうちかつどう 事業理解のための周知活動 おこな を行います。

とりくみ きょういく
取組 4 - 2 教育

りょういく きょういく れんけい き しえん
◆療育と教育の連携による切れめのない支援

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい 平成29 ねんど 年度	へいせい 平成32 ねんど 年度	しんちよくじょうきょう 進捗状況 (平成27年度)		へいせい ねんど もくひょう 平成28年度の目標
				へいせい ねんど 平成27年度	ひょうか 評価	
よこはまがた せんたー てき 横浜型センター的 きのう じゅうじつ 機能の充実	ちいまりょういく せんたー とくべつ しえんがっこう 地域療育センターや特別支援学校、 つうきゅうしどう きょうしつどう たんとしや せんもんせい 通級指導教室等の担当者が専門性 かつよう しえん おこな がっこう しえん を活用して支援を行う学校支援 たいせい (よこはまがた せんたー てききのう) 体制(横浜型センター的機能)の じゅうじつ はか しょう 充実を図ります。そして、小・ ちゅうがっこう ぞうだん じどうせいと ほご 中学校からの相談や児童生徒、保護 しや ぞうだん たいおう とくべつ 者からの相談に対応するなど、特別 しえん ひつよう じどうせいと てきかく し な支援が必要な児童生徒を的確に支 えん 援します。	すいしん 推進	すいしん 推進	へいせい ねん がつ ぜんし 平成27年6月に全市での、 へいせい ねん がつ ほうめんべつ 平成28年2月に方面別で がっこう しえん たんとしや れんらくかい の学校支援担当者連絡会 かいさい よこはまがた せんたー を開催し、横浜型センター てききのう じゅうじつ む 的機能の充実に向けて、 よこはまし とくべつ しえん きょういく 横浜市の特別支援教育の どうこう がっこう しえん かん じょう 動向や学校支援に関する情 ほう きょうゆう おこな 報の共有を行いました。	○	よこはまがた せんたー てき きのう 横浜型センター的機能の じゅうじつ がっこう しえん 充実のため、学校支援 たんとしや れんらくかい かいさい 担当者連絡会を開催しま す。
とくべつ しえん きょういく 特別支援教育に おける 幼保小の れんけい 連携 【新規】	しょうがっこう ようちえん ほいくしよ どう 小学校が、幼稚園・保育所等と きょうりよく けんきゅうじっせん おこな とくべつ 協力して、研究実践を行い、特別 しえん きょういく よう ほしょう れんけい 支援教育における幼保小の連携と じょうほう きょうゆうか かん けん きゅう 情報の共有化に関する研究を おこな 行います。	すいしん 推進	すいしん 推進	へいせい ねん がつ しょうがっこう 平成28年3月、小学校 かんりしよく とくべつ しえん きょういく 管理職や特別支援教育 こーでい ねーたー たいしょう コーディネーターを対象 しん ぼ じ う む けい し き としたシンポジウム形式 けんきゅうほうこくかい おこな の研究報告会を行い、2 ねんかん けんきゅうせい か ほうこく 年間の研究成果を報告し ました。	○	へいせい ねんど じっし 平成27年度までに実施し じっせんけんきゅう せいか きつし た実践研究の成果を冊子 はっしん にまとめ、発信していきま す。
しゅうがくせつめいかい 就学説明会	とくべつ しえん きょういく きぼう ようじ 特別支援教育を希望する幼児の しゅうがく かん せつめいかい かいさい 就学に関する説明会を開催します。	すいしん 推進	すいしん 推進	せつめいかい しゅうがく 説明会において、就学の なが ずし わ 流れを図示するなど、分か りやすい説明を行いました。 せつめい おこな	○	ほごしや しゅうがく なが 保護者に就学の流れを りかい しょうがっこう 理解してもらい、小学校へ すむ ず、 にゅうがく めぎ のスムーズな入学を目指 します。

事業名	事業内容	平成29 ねんど 年度	平成32 ねんど 年度	進捗状況 (平成27年度)		平成28年度の目標
				進捗状況 (平成27年度)	評価	
就学・教育相談 の体制強化	一人ひとりの教育ニーズを的確に把握し、迅速で適正な就学・教育相談を行うために関係機関が相互に連携しながら、就学前から卒業後までを見通した相談体制の強化を図ります。	すいしん 推進	すいしん 推進	相談待ち期間を3か月程度で維持しました。	○	相談待ち期間、平均3か月程度を維持します。
聴覚障害児支援 事業	横浜市立小・中学校に在籍する聴覚障害のある児童生徒にノートテイクによる情報の保障を実施します。	すいしん 推進	すいしん 推進	必要な児童生徒に対して派遣を行っています。	○	可能な限り要請に応じて派遣できるよう執行管理に努めます。
保護者教室開催 事業	横浜市立小・中学校、特別支援学校の保護者を対象とした障害に対する正しい知識の啓発を進めます。	すいしん 推進	すいしん 推進	保護者教室を計6回開催しました。	○	保護者に障害に対する理解を深めてもらうことで、学校生活が円滑に進むことを支援します。
夏休み支援事業 (旧学齢障害児 夏休み支援事業)	特別支援学校幼児児童生徒の夏休み期間中における余暇活動の充実、保護者の介護負担の軽減及び地域との連携を進めます。	すいしん 推進	すいしん 推進	プール指導、部活動、レクリエーション活動、施設見学等に延べ8,011人が参加しました。	○	プール指導、部活動、レクリエーション活動、施設見学等に延べ7,500人の参加を予定しています。

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい 平成29 ねんど 年度	へいせい 平成32 ねんど 年度	しんちよくじょうきょう 進捗状況 (へいせい ねんど 平成27年度)		へいせい ねんど もくひょう 平成28年度の目標
					ひょうか 評価	
しりつようちえんとう 私立幼稚園等 とくべつ しえん きょういくひ 特別支援教育費 ほじょじぎょう 補助事業	しりつようちえんとう ざいえん しりつ 私立幼稚園等に在園している障 がいじ たい きょういく しりつが 害児に対する教育が、障害の しゅるい ていど おう てきせつ おこな 種類・程度などに応じて適切に行わ れるよう、その経費の一部を設置者 に ほじょ しりつがいじ きょういく 補助し、障害児の教育に やくだ 役立てます。	すいしん 推進	すいしん 推進	へいせい ねんど とくべつ しえん 平成27年度の特別支援 きょういくひ ほじょ たいしりつ えんじすう 教育費補助の対象園児数 は 838 人、補助総額は 165,784 千円となりました。	○	へいせい ねんど とくべつ しえん 平成28年度の特別支援 きょういくひ ほじょ たいしりつ えんじすう 教育費補助の対象園児数 は 674 人、補助金額は 134,800 千円を見込んでい ます。

◆ 教育環境・教育活動の充実

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい 平成29 ねんど 年度	へいせい 平成32 ねんど 年度	しんちよくじょうきょう 進捗状況 (へいせい ねんど 平成27年度)		へいせい ねんど もくひょう 平成28年度の目標
					ひょうか 評価	
とくべつ しえんきょういく 特別支援教育 こーでい ねーたー コーディネーター きのうきょうか の機能強化と すきるあっぷ スキルアップ きゅうはつたつしりつがいじとう (旧発達障害児等 支援事業)	とくべつ しえんきょういく こーでい ねーたー けい 特別支援教育コーディネーター養 せいけんしゅう じゅごう かつどう とく 成研修を受講して活動している特 べつ しえんきょういく こーでい ねーたー 別支援教育コーディネーターを たいしりつ すきるあっぷ め 対象に、さらなるスキルアップを目 ざ じれいけんきゅう ちゅうしん 指して、事例研究などを中心とし けんしゅう すす とち かんけいきかん た研修を進めると共に、関係機関と れんけい きょうか せんもんてき ししつ の連携を強化し、専門的な資質を たか 高めます。	すいしん 推進	すいしん 推進	ようせいけんしゅう せんもんてき 養成研修よりも専門的で もんだい かいけつてき けんしゅう おこな 問題解決的な研修を行 いました。	○	とくべつ しえん きょういく 特別支援教育において じゅうよう やくわり とくべつ 重要な役割を果たす、特別 しえん きょういく こーでい ねーた 支援教育コーディネータ ーを養成する研修を充実 することで、機能の強化を はか 図ります。

事業名	事業内容	平成29 ねん 年度	平成32 ねん 年度	進捗状況 (平成27年度)		平成28年度の目標
				進捗状況	評価	
ユニバーサルデザインの視点に基づく授業の展開	一般学級の教科学習において、特別支援教育で生み出された様々な工夫を取り入れ、全ての子どもたちの授業に対する意欲を高めたり、理解を深めたりすることを目指します。	すいしん 推進	すいしん 推進	研究授業を実施し、研究発表会にて報告しました。	○	「ユニバーサルデザインの視点に基づく授業づくり」の実践的な方法について、特別支援教育総合センター研修生と共同で検討します。
特別支援学校におけるICT機器の活用【新規】	主体的な学習のための効果的なタブレット端末の活用について、特別支援学校全校で実践研究をおこないます。	すいしん 推進	すいしん 推進	特別支援学校4校（ろう・港南台ひの・日野中央高等・中村）で、タブレット端末の活用についての実践研究を行いました。 ・各校8台、計32台導入	○	特別支援学校4校で、タブレット端末の活用について実践研究を行います。
特別支援学校の再編整備	入学者増に伴う狭隘化のため、対応が必要な特別支援学校(肢体不自由)を再編整備し、環境の改善と教育内容の充実を図ります。	すいしん 推進	さいへん 再編 せいび しゅうりょう 終了	再編整備に伴うスクールバス路線や通学区域の検証のための調査を実施しました。 また、保護者や地域等へ説明会等を実施しました。	○	再編整備に伴う、旧左近山第二小学校を利用した新たな特別支援学校の整備に向けた設計等を実施します。

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい 平成29 ねんど 年度	へいせい 平成32 ねんど 年度	しんちやくじょうきょう 進捗状況 へいせい ねんど (平成27年度)		へいせい ねんど もくひょう 平成28年度の目標
					ひょうか 評価	
とくべつ しえん がっこう 特別 支援 学校 すくーる ばす スクール バスの うんこう 運行	じどう せいと とう げこう あんぜん かくほ 児童 生徒 の 登下校 の 安全 確保 と せいしんてき しんたいてきふたん けいげん がっこう 精神的・身体的負担の軽減による学校 きょういく じゅうじつ はか 教育 の 充実 を 図る た め 、 すくーる ばす うんこう スクールバスを運行します。	すいしん 推進	すいしん 推進	つうがくえんじょ しかく し 通学援助のため、視覚・肢 たい ちてき とくべつしえんがっこう 体・知的の特別支援学校8 がっこう こーす うんこう 校、40コースを運行しまし た。 また、なつやす よ か しえん 夏休みの余暇支援の じゅうじつ はか か ききゅう 充実を図るため、夏季休 ぎょうちゅう うんこう じっし 業 中も運行を実施しまし た。 こうなんだい ごうしゃ なかむら 港南台ひの1号車、中村2・ こーす きたつなしまぶ、るー 4・5コース、北綱島ブルー こーす けい だいこうしん コースの計5台更新しまし た。	○	つうがくえんじょ とくべつしえん 通学援助のため、特別支援 がっこう こーす こーす うんこう 学校8校、40コースを運行 します。 なつやす よ か しえん じゅうじつ 夏休みの余暇支援の充実 をはか か ききゅうぎょうちゅう を図るため、夏季休 業 中 も うんこう じっし も運行を実施します。 すくーる ばす だい こうしん スクールバス5台を更新し ます。
とくべつ しえん がっこう 特別 支援 学校 いりょうてき け あ たいせい 医療的 ケア 体制 せいびじぎょう 整備事業 (きゅうしたいふじゆうとくべつ 旧肢体不自由特別 しえん がっこう いりょうてき 支援 学校 医療的 け あ たいせいせいびじぎょう ケア体制整備事業)	とくべつ しえん がっこう したい ふじゆう こう 特別 支援 学校 (肢体 不自由) 5 校 に かんごし はいち じどうせいと 看護師を配置しています。児童生徒の しゅじいとう しじ もと かんごし 主治医等の指示に基づき、看護師と きょういん れんけい いりょうてき け あ じっし 教員が連携して、医療的ケア実施 たいせい せいび おこな 体制の整備を行います。	すいしん 推進	すいしん 推進	かんごし したいふじゆうとくべつ ・看護師は肢体不自由特別 しえんがっこう こう めい はいち 支援学校5校に14名を配置 しました。 いりょうてき け あ こんだんかい ねんどもつ ・医療的ケア懇談会を年度末 かいさい に開催しました。 しんにんかんごし めい しどうかんご ・新任看護師2名に指導看護 ししょうせいけんしゅう じっし 師養成研修を実施しまし た。 しんにんかんごし めい はつてんにんきょう 新任看護師2名と初転任教 いん めい たい いりょうてきかん 員20名に対して医療機関で けんしゅう じっし の研修を実施しました。	○	ひ つづ かんごし はいち ・引き続き、看護師を配置し ます。(肢体5校に14名) いりょうてき け あ こんだんかい かいさい ・医療的ケア懇談会を開催 します。 きょういんおよ かんごし けんしゅう ・教員及び看護師の研修 じっし を実施します。

事業名	事業内容	平成29 ねんど 年度	平成32 ねんど 年度	進捗状況 (平成27年度)		平成28年度の目標
				進捗状況	評価	
校内研修の実施	一般学級においても特別な支援を要する児童生徒が増加し、支援のニーズが多様化している状況を踏まえ、全ての教員が障害の状況や特性に応じた指導・支援を行えるよう、ケーススタディを重視した研修を充実させ、専門性の向上を目指します。	すすしん 推進	すすしん 推進	5月に市立小中学校・高等学校・特別支援学校の特別支援教育コーディネーターに対して、校内研修会の実施に関する説明会を行ないました。その後、全市立学校で、特別支援教育に関する校内研修会を実施しました。	○	全校で特別支援教育に関する校内研修を実施します。
特別支援教育支援員事業 (旧障害児学校生活支援員事業)	小・中学校で障害により学習面、生活面や安全面への支援が必要な児童生徒に対し、校内支援体制が整うまでの間、特別支援教育支援員を配置します。	すすしん 推進	すすしん 推進	小学校229校、中学校56校で支援が必要な児童生徒に対し、特別支援教育支援員を804名配置しました。(登録者数は75名)	○	小・中学校で支援が必要な児童生徒に対し、特別支援教育支援員を配置します。

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい 平成29 ねん 年度	へいせい 平成32 ねん 年度	しんちよくじょうきょう 進捗状況 (へいせい 平成27年度)		へいせい ねん ど もくひょう 平成28年度の目標
					ひょうか 評価	
とくべつしえんきょういく 特別支援教育の りーだーの育成 【新規】	だいがくとうせんもんきかん 大学等専門機関への派遣を行うことにより、とくべつしえんきょういく 特別支援教育を担う きょういん 教員のりーだーの養成を行います。	すいしん 推進	すいしん 推進	よこはまこくりつだいがくこーでいね ・横浜国立大学コーディネーターコース長期派遣（1ねん 年）を行いました。 こくりつとくべつしえんきょういくそうごう ・国立特別支援教育総合 けんきゅうじょとくべつしえんきょういくせん 研究所特別支援教育専 もんこーすたんききはけんげつ 門コース（短期派遣3か月） については、ほしゅう 募集がなかったため、だいがく 大学で行う短期 けんしゅう 研修に派遣を行いました。		へいせい ねん ・平成30年までに 50名の とくべつしえんきょういく 特別支援教育を担うりー だーとなるきょういん 教員を養成す るため、かくまかん 各機関へきょういん 教員を はけん 派遣します。 けんきゅう 研究の内容をひろ 広く共有 するため、はけん 派遣教員の けんきゅうほうこくかい 研究報告会を開催します。

◆ 教育から就労への支援

事業名	事業内容	平成29年度	平成32年度	進捗状況 (平成27年度)	ひょうか 評価	平成28年度の目標
		へいせい ねんど 年度	へいせい ねんど 年度	しんちよくじょうきょう 進捗状況 (へいせい ねんど 年度)		へいせい ねんど もくひょう 平成28年度の目標
とくべつしえんがっこう 特別支援学校 しゅうろうしえんじぎょう 就労支援事業	きぎょうしゅうろう め ぎ せいと じっしゅうさきかい 企業就労を目指す生徒の実習先開 たく しよくばていちゃくしえん おこな 拓や職場定着支援を行うため、 こうとうとくべつしえんがっこう わかばだいとくべつしえん 高等特別支援学校(若葉台特別支援 がっこうちてきしょうがいきょういく ぶ もん ぶく 学校知的障害教育部門を含む)に しゅうろうしえんしどういん はいち 就労支援指導員を配置します。	すいしん 推進	すいしん 推進	しゅうろうしえんしどういんおよ がいぶ 就労支援指導員及び外部 はけんこうし はいち おこな 派遣講師の配置を行いま した。全国の特別支援学校 こうとうぶ ちてきしょう 高等部における、知的障 がい そつぎょうせい しゅうしょく 害のある卒業生の就職 りつ やく わり しりつ 率は約3割ですが、市立 こうとうとくべつしえんがっこう こう 高等特別支援学校3校の しゅうろうりつ わりいじょう いじ 就労率は8割以上を維持 しました。	○	しゅうろうしえんしどういんおよ がいぶ 就労支援指導員及び外部 はけんこうし はいち 派遣講師の配置により、 じっしゅうさきとう かいたく そつぎょうせい 実習先等の開拓や卒業生 ていちゃくしえんとう すいしん の定着支援等を推進しま す。
とくべつしえんがっこう 特別支援学校 しんろ たんとうしゃ れんらくかい 進路担当者連絡会 かいさい しんき の開催【新規】	しりつ とくべつしえんがっこう しんろ たんとうしゃ 市立特別支援学校の進路担当者が しょうがいしゅべつ こ ていきてき じょうほう 障害種別を超えて定期的に情報 こうかん じれい けんきゅう おこな はばひろ 交換や事例研究を行い、幅広い しんろ せんたく たいおう 進路選択に対応できるようにしま す。	すいしん 推進	すいしん 推進	しりつとくべつしえんがっこう こう 市立特別支援学校12校の しんろたんとうしゃれんらくかい ねん かい 進路担当者連絡会を年2回 じっし しょうがいしゅべつ 実施しました。障害種別 こ じょうほうこうかん てび を超えた情報交換や手引 とう きょうゆつか はか き等の共有化を図ること ができました。	○	しりつ とくべつしえんがっこう しんろ 市立特別支援学校の進路 たんとうしゃ れんらくかい かいさい 担当者連絡会を開催しま す。

とりくみ じんざい かくほ いくせい
取組 4-3 人材の確保・育成

しょうがいふくしじゅうじしゃ かくほ いくせい
◆ 障害福祉従事者の確保と育成

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい 平成29 ねん 年度	へいせい 平成32 ねん 年度	しんちよくじょうきょう 進捗状況 (平成27年度)		へいせい ねん 平成28年度の目標
				へいせい ねん 平成27年度	ひょうか 評価	
がくせいとう たいしょう 学生等を対象と した人材の確保 事業 (あ)	せんもんがっこう しないだいがくとう れんけい がく 専門学校や市内大学等と連携し、学 生向けに説明会やセミナー、見学 ツアー等を行い、障害福祉に 触れる機会を増やすなど、障害福祉 への人材確保に向けた取組を行います。	すいしん 推進	すいしん 推進	ふくしけいだいがく ほうちん ・福祉系大学を訪問し、 がくせいむ きかく かか じょうほう 学生向け企画に係る情報 しゅうじゅう おこな しゅほう 収集を行い、その手法 けんとう を検討しました。 しょうがいふくしぶんや しごと ・障害福祉分野の仕事に きょうみ かた たいしょう 興味のある方を対象とし た就職説明会(知って！ み しょう ふくし 見つけて！障がい福祉の しごとフェア)を平成27年 がつ かいさい 11月に開催しました。	○	しない じぎょうしょ だいひょう かがた 市内事業所の代表の方々 と、学生等に障害福祉の みりよく つた きかく けんとう 魅力が伝わる企画の検討を すす 進めます。
しょうがいとくせい おう 障害特性に応じた しえん けんしゅう 支援のための研修	こうどうしょうがい はったつしょうがいとう しょうがいとく 行動障害や発達障害等の障害特 せい おう けんしゅう しょうほうしょうがいしや 性に応じた研修や、触法障害者に かん けんしゅう けんとう じっし 関する研修などを検討・実施しま す。	すいしん 推進	すいしん 推進	そうだん しえん きかん しょくいん 相談支援機関の職員を たいしょう はったつ しょうがいしや 対象に、発達障害者の そうだん しえん かか きそ 相談支援に係る「基礎 けんしゅう おうようけんしゅう 研修」と「応用研修」を じっし 実施しました。	○	そうだん しえん きかん しょくいん 相談支援機関の職員を たいしょう はったつ しょうがいしや 対象とした発達障害者 しえん かか けんしゅう ひ つづ 支援に係る研修を、引き続 き、実施します。 こうどうしょうがい かた また、行動障害のある方へ しえんりよくこうじょう はか の支援力向上を図るため しえんりよくこうじょうけんしゅう の「支援力向上研修」を かいさい 開催します。

事業名	事業内容	平成29 年度	平成32 年度	進捗状況 (平成27年度)		平成28年度の目標
				進捗状況 (平成27年度)	評価	
医療従事者研修 事業【再掲】㊤	疾病や障害のある小児及び重症心身障害児・者の支援に必要な知識・技術の向上を図り、障害特性を理解した医療従事者を育成するための研修を実施します。	すいしん 推進	すいしん 推進	テーマ3	とりくみ 取組3-1の健康・医療に内容を掲載しています。	
障害福祉施設等で働く看護師の支援【再掲】㊤	障害福祉施設等で働く看護師の定着に向けた支援を行うとともに、確保の方策について検討します。	すいしん 推進	すいしん 推進	テーマ3	とりくみ 取組3-1の健康・医療に内容を掲載しています。	
就労支援機関の 人材育成【新規】	就労支援機関職員の支援スキルを向上させるため、人材育成の仕組みづくりを検討します。	けんとう 検討を ふ 踏まえ た研修 等の じっし 実施	すいしん 推進	就労支援センターのあり方検討の中で、人材育成に 関する下記の方向性を打ち 出しました。 ・就労支援機関として 必要な知識の整理 ・共通した研修の実施	○	就労支援センターのあり方検討の中で打ち出された方向性(就労支援機関として必要な知識の整理・共通した研修の実施)に基づき、具体的な人材育成の取組内容を検討していきます。
障害福祉サービス事業所等職員向けの研修	事業所の職員が、障害者雇用を行っている企業での「就業体験」などを通じて、就労支援スキルの向上や、就労に向けた意識付けを行います。	さんか 参加 にんずう 人数 るいけい (累計) 90人	さんか 参加 にんずう 人数 るいけい (累計) 180人	19企業・団体の協力のもと、40名の市内事業所職員を対象に実施しました。	○	就労移行支援事業所や就労継続支援事業所の職員を対象として実施します。(参加者数：50人)

事業名	事業内容	平成29年度	平成32年度	進捗状況 (平成27年度)		平成28年度の目標
				進捗状況	評価	
ガイドヘルパー等 研修受講料助成 ㊤	ガイドヘルパー等の資格取得のための 研修受講料の一部を助成し、 人材確保を図ります。	すいしん 推進	すいしん 推進	183人に対して助成を行 いました。	△	引き続き、推進します。 (助成対象者数：250人。 ただし、年間予算500万円 に達するまで受付)
ガイドヘルパー スキルアップ研修 ㊤	より質の高いサービスが提供でき るよう、移動支援事業の従業者を 対象に研修を実施します。	すいしん 推進	すいしん 推進	・サービス提供責任者研 修を年4回実施しまし た。(前期2回、後期2回 に分けて7月と11月に 実施し、104名参加) ・現任者研修を年6回実 施しました。(前期3回、 後期3回に分けて7月と 11月に実施、274名参加)	○	現任者研修を7月に6回、 サービス提供責任者研修 を11月に4回実施します。

とうじしゃ しえんたいせい じゅうじつ
◆当事者による支援体制の充実

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい 平成29 ねんど 年度	へいせい 平成32 ねんど 年度	しんちよくじょうきょう 進捗状況 (平成27年度)		へいせい ねんど もくひょう 平成28年度の目標
					ひょうか 評価	
しゃかいさん かすいしん せん 社会参加推進セン ターによる団体 かつどうしえんきのう 活動支援機能の じゅうじつ 充実	しょうがいしゃほんにん かつどう ささ じんざい 障害者本人の活動を支える人材の いくせいすす おな しょうがい 育成を進めるとともに、同じ障害が ある人たちの交流や こみゆにけーしょん きかい かくじゅう コミュニケーションの機会を拡充 し、各団体活動を促進する取組を すいしん 推進します。	すいしん 推進	すいしん 推進	しゃかいさんかすいしんせんたー 社会参加推進センターを とお かくしょうがいとうじしゃだんたい 通して各障害当事者団体 いたく しゃかいさんかくんれん に委託の社会参加訓練10 じぎょう じっし さんかの にん 事業を実施し、参加延べ人 ずう 3,265 人 数は 3,265人となりました。	○	しょうがいしゃ じりつ しゃかいさんか 障害者の自立や社会参加 とう そくしん とうじしゃ 等を促進するための当事者 による事業を実施します。 (10事業以上実施)
しょうがいしゃほんにんおよ 障害者本人及び かぞく ふきゅう 家族による普及・ けいはつかつどう すいしん 啓発活動の推進 さいけい 【再掲】	しゃかいさん かすいしん せん た ー ちゅうしん 社会参加推進センターが中心とな り、しょうがいしゃほんにん かぞくおよ かくだんたい り、障害者本人、家族及び各団体と れんけい きょうどう しょうがいりかい そくしん む 連携・協働し、障害理解の促進に向 ふきゅう けいはつかつどう すいしん けた普及・啓発活動を推進します。	すいしん 推進	すいしん 推進	てーま とりくみ ふきゅう けいはつ ないよう けいさい テーマ1 取組1-1の普及・啓発に内容を掲載しています。		

テーマ5 働く・活動する・余暇を楽しむ

とりくみ 取組5-1 しゅうろう 就労

◆一般就労の促進と定着支援の充実

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	平成29 ねんど 年度	平成32 ねんど 年度	しんちよくじょうきょう 進捗状況 (平成27年度)	ひょうか 評価	へいせい ねんど もくひょう 平成28年度の目標
		しえん 支援 たいしょうしゃ 対象者 すう 数(9か 所計) 3,400 人	へいせい 平成29 ねんど 年度まで の状況 じょうきょう 等を基に どう もと 設定す る。	かんけいきかん れんけい 関係機関と連携しながら、 しょうがいしゃ きぎょうとう しゅう 障害者の企業等への就 ろう ていちゃくしえん おこな 労・定着支援を行いました た。また、しゅうろうしえん せん た 就労支援センター - しえん かの 一の支援のあり方につ て検討し、「就労支援 しゅほう ないよう じゅうじつ ちいき 手法・内容の充実」、「地域 における しゅうろう しえん ネットワークの構築」、 「しょくいん じんざいいくせい 職員の人材育成」の3 つの方向性を打ち出しま した。	○	かんけいきかん れんけい 関係機関と連携しながら、 しょうがいしゃ きぎょうとう しゅう 障害者の企業等への就 ろう ていちゃくしえん すいしん 労・定着支援を推進しま す。また、しゅうろうしえん せん た 就労支援センター - かの 一のあり方について、3つ の方向性に沿って具体的な とりくみ けんどう おこな 取組の検討を行います。
しゅうろうしえん せん た - 就労支援センター (9か所)	はたら きぼう しょうがい かの 働くことを希望する障害のある方 やすでに働いている方が安心して はたら つづ して働くための支援を、企業や かんけいきかん れんけい おこな 関係機関と連携して行います。					
しゅうろうしえん きかん じん 就労支援機関の人 ざいいくせい しん き 材育成【新規】 さいけい 【再掲】	しゅうろうしえん きかん しょくいん しえん す きる 就労支援機関職員の支援スキルを こうじょう じんざいいくせい し く 向上させるため、人材育成の仕組み づくりを検討します。	けんどう 検討を ふ 踏まえた けんしゅうとう 研修等 じっし の実施	すいしん 推進	て - ま とりくみ じんざい かくほ いくせい ないよう けいさい テーマ4 取組4-3の人材の確保・育成に内容を掲載しています。		

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい 平成29 ねん 年度	へいせい 平成32 ねん 年度	しんちよくじょうきょう 進捗状況 (平成27年度)		へいせい ねんど もくひょう 平成28年度の目標
				へいせい ねんど 評価	ひょうか 評価	
はたら 働きたい！あなたの シンポジウム	はたら しょうがいしゃ こよう すす きぎょう 働く障害者や、雇用を進める企業 などの「生の声」を聴くことで、 しょうがいしゃ こよう りかいそくしん けいはつ すす 障害者雇用の理解促進や啓発を進 めます。	さんかしゃすう 参加者数 るいけい (累計) 600人	さんかしゃすう 参加者数 るいけい (累計) 1,200人	へいせい ねん がつ はたら 平成28年1月に「働きた い！あなたのシンポジウ ム」を開催し、当事者・ご 家族等に対して就労啓発 を行いました。(参加者 数：227人)	○	はたら 「働きたい！あなたのシ ンポジウム」を開催(年1 回)し、当事者・ご家族等に 対して就労意欲の向上を 図ります。(参加者数：240 人)
きぎょう ふくし 企業と福祉をつな ぐセミナー	しょうがいしゃ こよう けんとう きぎょう とう 障害者雇用を検討する企業等を たいしやう ふくし しえんきかんと 対象に、福祉の支援機関等をつなげ ることや雇用に関する制度の情報 提供を行います。	さんか 参加 きぎょうすう 企業数 るいけい (累計) 120社	さんか 参加 きぎょうすう 企業数 るいけい (累計) 240社	へいせい ねん かわかきし 平成27年9月に川崎市と 共催にてセミナーを開催 し、132企業・団体の参加が ありました。	○	しょうがいしゃ こよう けんとう き 障害者雇用を検討する企 業等を対象に、「企業向け セミナー」を開催し、雇用啓 発や障害理解の促進を進 めます。(参加企業数：140 社)
しょうがいしゃ こよう じれい 障害者雇用事例の 紹介	しょうがいしゃ こよう すぐ とりくみ おこな 障害者雇用で優れた取組を行う 企業等をデータベースにして市の WEBページ等で広く紹介します。	しょうかい き 紹介企 業数 るいけい (累計) 90社	しょうかい き 紹介企 業数 るいけい (累計) 150社	きぎょう だんたい とう ひあり 企業や団体等へのヒアリ ングを行い、順次、WEB ページへの掲載を行いま した。	△	うえぶ ペーじ とう かつやう WEBページ等を活用し、 しょうがいしゃ こよう すぐ とりくみ 障害者雇用で優れた取組 を行う企業の紹介件数を 増やします。
ちゅうしょう きぎょう 中小企業への 障害者雇用支援 【新規】	し ない きぎょう たいはん し ちゅうしょう 市内企業の大半を占める中小 企業に対する雇用啓発に向けて検討 します。	けんとう 検討を ふ 踏まえた じぎょう 事業の じっし 実施	すいしん 推進	かながわ ろうどうきょく かんけい 神奈川県などの関係 機関と意見交換を行い、 けいざい だんたい とう でむ 経済団体等へ出向いて 出前講座を実施しました (3回)。	○	けいはつ ばん ふれつ と さくせい 啓発パンフレットを作成す るとともに、けいざいだんたい とう 経済団体等へ 出向き、出前講座を実施し ます。

ふくしてきしゅうろう いっぱんしゅうろう いこう
◆ 福祉的就労から一般就労への移行

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	平成29 ねん 年度	平成32 ねん 年度	しんちよくじょうきょう 進捗状況 (平成27年度)		へいせい ねん 平成28年度の目標
				ひょうか 評価		
ちいき しゅうろう 地域における就労 しえん ネットワーク 支援 ネットワーク の構築【新規】	かんけいきかん どうし れんけい きょうりょくたいせい 関係機関同士の連携・協力体制を こうちく 構築することで、企業就労の促進、 しゅうろうご ていちゃくしえん およ せいかつしえん 就労後の定着支援及び生活支援の じゅうじつ はか 充実を図ります。	かんけい 関係 きかん 機関と れんけい の連携 が い どう ガイドラ インの さくていとう 策定等	すいしん 推進	しゅうろうしえん せん た - とくべつ 就労支援センターと特別 しえん がっこう およ しゅうろう いこう 支援学校及び就労移行 しえん じぎょうしょ れんらくかい 支援事業所との連絡会を おこな かんけいきかん れんけい 行い、関係機関との連携 すす を進めました。	○	しゅうろうしえん せん た - 就労支援センターのあり かたけんどう しゅうろうしえん 方検討をふまえ、就労支援 せん た - かくかんけいきかん センターと各関係機関との れんらくかい かいさい れんけい 連絡会の開催により連携を すす 進めます。

しょうがいふくし さ - び す じぎょうしょとうしよくいん じんざいいくせい
◆ 障害福祉サービス事業所等職員の人材育成

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	平成29 ねん 年度	平成32 ねん 年度	しんちよくじょうきょう 進捗状況 (平成27年度)		へいせい ねん 平成28年度の目標
				ひょうか 評価		
しょうがいふくし さ - び す 障害福祉サービス じぎょうしょとうしよくいん む 事業所等職員向け の研修【再掲】	じぎょうしょ しよくいん しょうがいしゃこよう おこな 事業所の職員が、障害者雇用を行 きぎょう っている企業での「就業体験」な つう しゅうろう しえん す きる どを通じて、就労支援スキルの こうじょう しゅうろう む い しきづ 向上や、就労に向けた意識付けを おこな 行います。	さんか 参加 にんずう 人数 るいけい (累計) 90人	さんか 参加 にんずう 人数 るいけい (累計) 180人	て - ま テーマ4	とりくみ 取組	じんざい かくほ いくせい ないよう けいさい 4-3の人材の確保・育成に内容を掲載していま す。

とりくみ 2 ふくしてきしゅうろう
取組5-2 福祉的就労

さぎょう じゅうじつ こうちんこうじょう
◆作業の充実と工賃向上

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい 平成29 ねん 年度	へいせい 平成32 ねん 年度	しんちよくじょうきょう 進捗状況 (平成27年度)		へいせい ねん 平成28年度の目標
				へいせい ねん 平成27年度	ひょうか 評価	
<p>しょうがいしゃ よこはま 障害者 きょうどうじゅちゅうそうごう せ 共同受注総合セ んたーの運営 【新規】</p>	<p>しんない しょうがいしゃ しせつ とう じょうほう 市内の障害者施設等の情報を しゅうやく 集約するとともに、企業等からの さぎょう じゅちゅう 窓ぐち およ 作業受注における窓口及び こーでいねーととう おこな コーディネート等を行います。</p>	<p>かめいしせつ 加盟施設 における 「月額 平均 工賃」 が10 % 以上 上昇</p>	<p>へいせい 29 平成29 ねん 年度 まで の状況 等を基 に設定 する。</p>	<p>しんないしょうがいしゃしせつとう とうろく 市内障害者施設等の登録 を進め、作業内容や作業 能力などを把握しまし た。(登録事業者数：207 社)(平成28年3月時点) また、企業等への営業活 動を実施したほか、運営に 係る進め方を包括的に協 議する為、連絡会を設置 し、運営しました。(3回)</p>	○	<p>とうろく じぎょうしょ じゅちゅうそくしん 登録事業所への受注促進 のため、企業訪問を実施し 受注数の拡大を図ります。 (100社) また、研修や技術的指導を 通じ、登録する事業所の 受注促進を支援します。 (年4回実施)</p>
<p>ゆうせん ちょうたつ すいしん 優先調達推進のた めの ちょうない けいはつ め 庁内への啓発</p>	<p>ちょうないらん ちょうないほう かつよう 庁内LANや庁内報などを活用し、 ゆうせん ちょうたつ 区局等 すぐ 優先調達における区局等の優れた はっちゅう じれい ひろく しゅうち けいはつ 発注事例を広く周知・啓発を おこな 行います。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>へいせい 29 平成29 ねん 年度 まで の状況 等を基 に設定 する。</p>	<p>おーだー ーつうしん 「は～とオーダー通信」を 発行し、平成26年度の各 局区等の調達実績や調 達事例を庁内LANに 掲載しました。 また、会議等で調達事例 を説明し、発注を呼びか けました。</p>	○	<p>くきょく すぐ はっちゅう 区局における優れた発注 事例を「は～とオーダー 通信」として庁内LANに 掲載し、広く周知します。 また、会議等で調達事例を 説明し、庁内からの発注 を促進します。</p>

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい 平成29 ねんど 年度	へいせい 平成32 ねんど 年度	しんちよくじょうきょう 進捗状況 (へいせい 平成27年度)		へいせい ねんど もくひょう 平成28年度の目標
					ひょうか 評価	
たいしょうじぎょうしょ かくだい 対象事業所の拡大 む けんとう に向けた検討 しんき 【新規】	とくれい こがいしゃ じゅうど しょうがいしゃ たすう こよう 特例子会社、重度障害者多数雇用 じぎょうしょおよ ざいたくしゅうぎょうしょうがいしゃとう 事業所及び在宅就業障害者等、 ほうりつ たいしょうはんい きぎょうとう 法律の対象範囲である企業等への たいしょうかくだい む けんとう おこな 対象拡大に向けて検討を行います。	かだい 課題の けんしょう 検証を ふ 踏まえた けんとう 検討	すいしん 推進	たいしょうはんい てきせつ 対象範囲として適切な じぎょうしょ じょうほう 事業所について、情報 しゅうしゅう ちょうない けんとう 収集や庁内での検討を おこな 行いました。	○	かんけいきょくとう きょうぎ たいしょう 関係局等と協議し、対象 はんい にんていせいど けんしょう 範囲や認定制度の検証を おこな 行います。 また、せんもんか いけんちょうしゅ また、専門家への意見聴取 おこな を行います。
しゃかいさんか きかい 社会参加する機会 かくほ の確保 こうもく (▷の項目)	きぎょう はたら しせつ にっちゅうかよ 企業で働くことや、施設に日中通 うことがこんなん ざいたく かた しゃかい うことが困難な在宅の方でも、社会 さんか きかい かくほ 参加する機会を確保できるような しく けんとう 仕組みを検討します。	—	—	しかく しょうがいしゃ だんたい しゅうろう 視覚障害者団体と就労 しえん かん いけん こうかん 支援に関し意見交換を じっし 実施しました。	○	ざいたく かた じょうきょう はあく 在宅の方の状況把握や しゃかいさんか じょうほう 社会参加についての情報 しゅうしゅう おこな 収集を行います。

とりくみ につちゅうかつどう
取組5-3 日中活動

につちゅうかつどうばしょ かくじゅう
◆ 日中活動場所の拡充

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい 平成29 ねんど 年度	へいせい 平成32 ねんど 年度	しんちよくじょうきょう 進捗状況 (へいせい ねんど 平成27年度)		へいせい ねんど もくひょう 平成28年度の目標
					ひょうか 評価	
につちゅう かつどう ばしょ 日中活動場所の やくわり めいかくかおよ 役割の明確化及び せっちそくしん 設置促進 こうもく (▷の項目)	げんざい につちゅうかつどう かか さまざま 現在の日中活動に関わる、様々な しゃかいしげん やくわり いちづ めいかく 社会資源の役割や位置付けを明確に しょうがいしゃほんにん きぼう かつどうばしょ し、障害者本人が希望する活動場所 せんたく ほうほう いりょうてきけ あとう を選択できる方法や医療的ケア等 せんもんてき しえん ひつよう かた しえん 専門的な支援が必要な方への支援 ほうほう けんとう 方法について、検討します。 あわ とくべつしえんがっこう そつぎょうせいとう 併せて、特別支援学校の卒業生等の い さき につちゅうかつどうばしょ せっち 行き先となる日中活動場所の設置 そくしん を促進します。	—	—	につちゅう さーびす かか 日中のサービスに関わる かくしせつ やくわりとう 各施設の役割等について、 ちょうない かんけいしゃとう まじ 庁内や関係者等を交えた けんとう じっし 検討を実施しました。	△	ひ つづ につちゅう さーびす 引き続き、日中のサービス かか かくしせつ やくわり に関わる各施設の役割や しさくとう かんけいしゃとう 施策等について、関係者等 まじ けんとう すす を交えた検討を進めていき ます。

とりくみ いどうしえん
取組 5 - 4 移動支援

いどうしえん じゅうじつ しゃかいさんか そくしん
◆移動支援の充実による社会参加の促進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい 平成29 ねんど 年度	へいせい 平成32 ねんど 年度	しんちよくじょうきょう 進捗状況 (へいせい ねんど 平成27年度)		へいせい ねんど もくひょう 平成28年度の目標
					ひょうか 評価	
いどうじょうほうせんたー 移動情報センター うんえいとうじぎょう すいしん 運営等事業の推進 ㊦	いどうしえん かん じょうほう しゅうやく 移動支援に関する情報を集約し、 ひとり てきせつ じょうほう 一人ひとりにあった適切な情報を ていきょう いどうしえん さき 提供することや、移動支援を支える じんざい はっくつ いくせい おこな いどうじょうほう 人材の発掘・育成を行う移動情報 せんたー ぜんく かいせつ しな センターを全区で開設し、市内のど ちいま いどうしえん しゅく の地域でも移動支援の仕組みを こうかてき りょう 効果的に利用できるようにします。	そうだん 相談 けんすう 件数 2,500 けん 件	そうだん 相談 けんすう 件数 3,600 けん 件	いどうじょうほうせんたー まどぐち 移動情報センターの窓口 あら く かいせつ を新たに3区で開設しま した。(時期：平成28年1 じき へいせい ねん 月、箇所：青葉区、泉区、 がつかしよ あおぼく いずみく さかえく るいけい く 栄区) (累計12区)	○	いどうじょうほうせんたー まどぐち 移動情報センターの窓口 あら く かいせつ を新たに3区で開設しま す。(時期：平成29年1月、 じき へいせい ねん がつ 箇所：鶴見区、磯子区、 せやく るいけい く 瀬谷区) (累計15区)
が いどへるばーとう ガイドヘルパー等 けんしゅう じゅうごうりょう じよせい 研修受講料助成 さいけい ㊦ 【再掲】	が いどへるばーとう しかくしゅとく ガイドヘルパー等の資格取得のため けんしゅう じゅうごうりょう いちぶ じよせい の研修受講料の一部を助成し、 じんざいかくほ はか 人材確保を図ります。	すいしん 推進	すいしん 推進	てーま4 とりくみ じんざい かくほ いくせい ないよう けいさい テーマ4 取組4-3の人材の確保・育成に内容を掲載していま す。		
が いどへるばーす ガイドヘルパー ス きるあっぷ けんしゅう キルアップ 研修 さいけい ㊦ 【再掲】	しつ たか さーびす ていきょう より質の高いサービスが提供でき いどうしえんじぎょう じゅうぎょうしや るよう、移動支援事業の従業者を たいしゅう けんしゅう じっし 対象に研修を実施します。	すいしん 推進	すいしん 推進	てーま4 とりくみ じんざい かくほ いくせい ないよう けいさい テーマ4 取組4-3の人材の確保・育成に内容を掲載していま す。		

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい 平成29 ねん 年度	へいせい 平成32 ねん 年度	しんちよくじょうきょう 進捗状況 へいせい ねん (平成27年度)		へいせい ねん ど もくひょう 平成28年度の目標	
				ひょうか 評価			
こうりつてき しやりようりよう 効率的な車両利用 の仕組みの検討 ㊤	つうしよとう しゃかいさんか いっそうすす 通所等の社会参加が一層進められる よう、乗合形式等による効率的な しやりようりよう しく けんとう 車両利用の仕組みを検討します。	すいしん 推進	すいしん 推進	ちく にしくおよ なかく 2地区(西区及び中区)で、 へいせい ねん ど けんとう 平成26年度までの検討 けつか ふ けんとうおよ 結果を踏まえた、検討及び しそとう おこな 試走等を行いました。 (時期：平成27年10月～ へいせい ねん がつ 平成28年3月)		○	けんとうけつか しゅうち はか 検討結果について周知を図 るとともに、実施を検討す る施設に対して、必要な しせつ たい ひつよう 支援を行っていきます。
なんびよう かんじゃ がいしゅつ 難病 患者 外出 しえん さーび す じぎょう 支援サービス事業	いっばん こうつうきかん りよう がいしゅつ 一般の交通機関を利用しての外出 に困難を伴う、車いす利用者等に ふくししやりよう さーび す ていきょう 福祉車両によるサービスを提供し ます。	すいしん 推進	すいしん 推進	ちゃくじつ すいしん 着実に推進しました。 のべりようかいすう かい (延利用回数：1,179回)		○	ちゃくじつ じっし 着実に実施します。
ざいたくじゅうしょうかんじゃ 在宅重症患者 がいしゅつしえんじぎょう 外出支援事業	くるま いどう こんなん す とれ 車いすによる移動が困難でストレ っ ちゃーたいおうしゃ しょう え ツチャー対応車を使用せざるを得な い難病患者が、通院等の際、所定の かんじゃとうはんそうようじどうしゃ りよう ばあい 患者等搬送用自動車を利用した場合 に、その移送費の一部を助成します。	すいしん 推進	すいしん 推進	ちゃくじつ すいしん 着実に推進しました。 のべりようかいすう かい (延利用回数：499回)		△	ちゃくじつ じっし 着実に実施します。
ふくしゆうしょううんそうじぎょう 福祉有償運送事業	いどう かいじょ ひつよう しんたいしょうがいしゃとう 移動に介助が必要な身体障害者等 たいしょう とうろく えぬびーおーほうじんと を対象に、登録されたNPO法人等 により、自家用自動車を使用して ゆうしょう ゆそう さーび す そくしん 有償で輸送するサービスを促進し ます。	すいしん 推進	すいしん 推進	ふくし ゆうしょう うんそう てきせい 福祉有償運送の適正な じっしとう きょうぎ 実施等について協議する、 ふくし ゆうしょう いどう さーび す 福祉有償移動サービス うんえいきょうぎかい かいさい 運営協議会を開催しまし た。		○	あんぜん あんしん ふくしゆうしょううんそう 安全・安心な福祉有償運送 の実施を支援します。

とりくみ ぶんか すぽーつ れくりえーしょん
取組5-5 文化・スポーツ・レクリエーション

ぶんか げいじゅつかつどう すいしん
◆文化・芸術活動の推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい 平成29 ねんど 年度	へいせい 平成32 ねんど 年度	しんちよくじょうきょう 進捗状況 (平成27年度)		へいせい ねんど もくひょう 平成28年度の目標
				ひょうか 評価		
さんか がた あーと いべ 参加型アートイベ んと かいさい ントの開催	しな い さまざま かいじょう かつよう 市内の様々な会場を活用して、 さんか がた あーと いべ んと けんとう 参加型のアートイベントを検討・ かいさい ねん いちど かいさい 開催します。3年に一度開催する ぱらとりえんなーれ きばん パラトリエンナーレへの基板づくり として、しょうがいしゃ げいじゅつ かつどう 障害者の芸術活動の かんきょう けんとう 環境づくりを検討します。	すいしん 推進	すいしん 推進	よこはま らぼーる げいじゅつ しじょう 横浜ラポールの芸術市場 とくべつ つかく げんだい げいじゅつ 特別企画として、現代美術 さいせんたん かつやく げんだい の最先端で活躍する現代 げいじゅつかつどう ちーむ め 芸術活動チーム 目【め】 による ちょうさほうこくはつひょうおよ び みにわーくしよつぷ じつ ミニワークショップを 実 し、しょうがい うむ にか 施し、障害の有無に関わ らず さまざまな参加者40名が げんだい あーと ぶ 現代アートに触れました。	○	しょうがい かの あーと 障害のある方のアート かつどう しえん じんざい いくせい 活動を支援する人材を育成 することを目的として、 けんしゅうかい およ わーくしよつ 研修会及びワークショップ ぶ じっし プを実施します。
よこはま ぱらとり えんなーれ かいさい エンナーレの開催	しょうがいしゃ げいじゅつかつどう そくしん 障害者の芸術活動を促進すること や、しょうがいしゃ げいじゅつか ぎょうどう や、障害者と芸術家の協働による さくひんづく おこな 作品作りを行うことなどにより、 しょうがいしゃ じしん いっそう じりつ 障害者自身の一層の自立につなげ ていくため、げんだい あーと こくさいてん 現代アート国際展であ る「よこはま ぱらとりえんなーれ」 かいさい を開催します。	かいさい 開催	かいさい 開催	よこはま ひゅーまん あんど ヨコハマ・ヒューマン & てく の らんど において ぱ テクノランドにおいてパ らとりえんなーれ ラトリエンナーレ2014 や よこはま らんでらーぶろ じえ 横浜 ランデヴープロ ジェ くと しょうがい しょうがいしゃ クトの紹介や障害者の げいじゅつかつどう にー 芸術活動についての二 ず ちょうさ じっし 次調査を実施しました。	○	よこはま ひゅーまん あんど て ヨコハマ・ヒューマン & テ くの らんど において ぱら テクノランドにおいてパ らとりえんなーれ およ よこ リエナーレ2014 及び横 はま らんでらーぶろ じえ くと 浜ランデヴープロジェクト で けいぞく じっし 継続して実施している しょうがいしゃ しせつ あーと かつどう 障害者施設のアート活動 しょうがい を紹介します。

事業名	事業内容	平成29 ねんど 年度	平成32 ねんど 年度	進捗状況 (平成27年度)		平成28年度の目標
				進捗状況 (平成27年度)	評価	
4校種 図画工作・ 美術・書道作品展 特別支援教育部門 ～つたえたい ぼく のおもい わたしの きもち～の開催 【再掲】	4校種（小・中・高・特別支援）の 幼児児童生徒の作品を一堂に集め、 市民公開の作品展を開催すること で、障害のある子どもの文化活動に 関する普及・啓発を図ります。	すいしん 推進	すいしん 推進	テーマ1	とりぐみ 取組1-1の普及・啓発に内容を掲載しています。	
障害者の芸術活 動支援ネットワー クの構築【新規】	障害者の美術活動を支える人材、 団体等の関係機関によるネ ットワーク化を図り、芸術活動の 情報収集、発信を行う拠点を 設置します。	こうちく 構築	すいしん 推進	NPO 法人 スローレーベ ルが採択され、神奈川県 で実施した厚生労働省の 障害者芸術活動支援モ デル事業に、協力委員会 への参加(4回)や事業の 周知等で協力し、関係 機関との連携を図りまし た。	△	個別に活動している関係 団体と集まり、課題や 方向性を共有する場を設 けます。

す ぽ - つ かつどう すいしん
◆スポーツ活動の推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい 平成29 ねんどう 年度	へいせい 平成32 ねんどう 年度	しんちよくじょうきょう 進 捗 状 況 (へいせい ねんどう 平成27年度)		へいせい ねんどう もくひょう 平成28年度の目標
					ひょうか 評価	
<p>ぱらとらいあするん パラトリアスロン の強化</p>	<p>よこはまらぼーる 横浜ラポールにおいて、ぱらとらい あするんきょうぎ ふきゅう きょうか む アスロン 競技の普及・強化に向けた とりくみ すいしん 取組を推進します。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>ぱらとらいあするん きょうかい パラトリアスロン 協会 の強化練習を横浜ラポー ルで実施しました。</p>	<p>○</p>	<p>きょうぎだんたい きょうかきてん 競技団体が強化拠点として かつどう しえん 活動できるよう支援しま す。</p>
<p>とくべつしえんがっこう 特別支援学校にお けるスポーツ選手 育成強化事業</p>	<p>おりんぴっく ぱらりんぴっくとうきょう オリンピック・パラリンピック東京 たいかいかいさい けいき とくべつしえん 大会開催を契機として、特別支援 がっこう おこな す ぽ - つ せかい め ぎ 学校で行うスポーツで世界を目指す じどうせいと しえん 児童生徒を支援することにより、 しょうがい こ どもたちの自立と しゃかいさんか 社会参加につなげます。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>ひ の ちゅうおうこうとうとくべつしえんがっ 日野中央高等特別支援学 校においてせかいたいかい 世界大会への しゅつじょうじつせき 出場実績がありました。 ・2015年第3回台中 障 がい者卓球オープン大会 にほんだいいひょう 日本代表。 ・国際的な水泳大会である 2015Can-Am Open及び 2016INAS Swimming チャンピオンシップ ー あじあ Championships-Asiaの にほんだいいひょう 日本代表。</p>	<p>△</p>	<p>しりつとくべつしえんがっこう 市立特別支援学校において しょうがい ようじじどうせいと 障害のある幼児児童生徒 が、せかいたいかい にほん 世界大会において日本 だいいひょう かつやく 代表として活躍するため の支援として、こくさいたいかい 国際的大会 しゅつじょうしょうらいひ がいぶこうし 出場奨励費、外部講師の しょうへいどう おこな 招聘等を行います。</p>

れくりえーしょんかつどう すいしん
◆レクリエーション活動の推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい 平成29 ねん 年度	へいせい 平成32 ねん 年度	しんちよくじょうきよう 進捗状況 (平成27年度)		へいせい ねん ど もくひょう 平成28年度の目標
				ひょうか 評価		
しょうがいしゃ すぼーつ 障害者スポーツの けいはつ 啓発	たとし どりくみ じょうほうしゅうしゅう 他都市における取組の情報収集 と、具体的なけいはつほうほう けんとう おこな ぐたいき けいはつほうほう けんとう おこな ます。	けいはつ 啓発 ほうほう 方法の けんとう 検討	すいしん 推進	ぜんこく しょうがいしゃ すぼーつ せん 全国障害者スポーツセン ター 協議会等の会議に しゅつせき 出席しました。また、全国 しょうがいしゃ すぼーつ たいかい 障害者スポーツ大会に しゅつじょう よこはまし せんしゅだん 出場する横浜市選手団 の強化練習について、他 とし ごうどうれんしゅう かいさい 都市との合同練習の開催 しがい かいじょう りよう や市外の会場を利用する ことで、交流や情報収 しゅう 集をしました。	○	あんけーと ちょうさとう じっし アンケート調査等を実施 し、他都市取組の情報を しゅうしゅう 収集します。また、市内 しょうちゅうがっこう しょうがいしゃ 小中学校で障害者 すぼーつ たいけんかいとう けいはつ スポーツの体験会等の啓発 かつどう じっし 活動を実施します。
みぢか ちいき 身近な地域におけ る障害者スポーツ のすいしん 推進	みぢか ちいき すぼーつ せん たー 身近な地域にあるスポーツセンター とう かつよう しょうがいしゃ すぼーつ 等を活用して、障害者スポーツにい つでも取り組むことができるよう、 ちいき じんざい いくせい すす しょうがいしゃ 地域人材の育成を進め、障害者 すぼーつ かつどう すいしん はか スポーツ活動の推進を図ります。	すいしん 推進	すいしん 推進	みぢか ちいき すぼーつ かつ 身近な地域でスポーツ活 動に取り組むことができ るよう、7区(鶴見区、旭 く かなざわく あおぼく とつか 区、金沢区、青葉区、戸塚 く さかえく せやく だんたい 区、栄区、瀬谷区)で団体 や施設、人材等のネットワ ーくを構築しました。 (27年度、新規ネットワー く こんぞく せやく さかえく ク構築区：青葉区、栄区)	○	あら くに ねつとわーく 新たに2区でネットワーク の構築を図ります。